

- | 特集 2014年は投資効率の向上
- | 製品特集 サーマルカメラ
- | 業種別市場 輸送機関

超広角180度&全方位360度による映像監視 魚眼レンズ搭載ネットワークカメラFE8174V



高品質の画像と優れたWDRで卓越した監視システムを実現



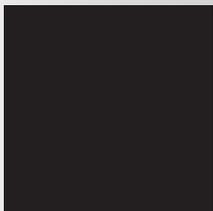
安全と安心はプライスレス



FLIR FCシリーズ S

極めて低価格 ネットワーク統合可能な固定型 赤外線サーマルカメラ

監視用赤外線サーマルカメラ FCシリーズ Sは、暗闇や悪天候の中で外部侵入者の脅威から施設を守ります。デジタルないし、アナログネットワークでコントロール及び操作が可能です。FCシリーズ Sは、320×240ピクセルモデルと、高解像度640×480ピクセルモデルからお選びいただけます。



肉眼での視界



赤外線サーマルカメラ



製品に関するお問い合わせ先:

フリーアシステムズジャパン株式会社

〒141-0021

東京都品川区上大崎2-13-17

目黒東急ビル5F

Tel.: 03-6721-6648

Fax.: 03-6721-7946

e-mail: info@flir.jp

www.flir.com

目次

A&SJAPAN Mar/Apr. 2014
2014年3-4月号 No.39



国内産業ニュース	8
海外産業ニュース	10、12
読者の声	52

表紙解説

VIVOTEK ネットワークカメラ	4-5
-------------------	-----

特集

2014年：顧客の投資利益率の向上	16
-------------------	----

製品特集

応用分野が広がるサーマル技術	22
----------------	----

業種別市場

インテリジェント輸送	28
------------	----

連載

市場慧眼 よくわかるIPネットワーク	32
--------------------	----

新連載 SMAhome	36-37
-------------	-------

イベント・情報

SECUTECH 2014プレビュー	40
--------------------	----

ソニービジネスソリューション & EMCJAPAN	39
---------------------------	----

展示会、プライベートショー日程	42
-----------------	----

導入事例

フリーアーシステムズ	43
------------	----

新製品情報

アクシスコミュニケーションズ	45
----------------	----

BOSCH SECURITY SYSTEMS	47
------------------------	----

パナソニック システム ネットワークス	46
---------------------	----

ソニー	44
-----	----

新製品欄

CCTV、入退管理、その他	48
---------------	----

広告主名(ABC順)	掲載ページ
アクシスコミュニケーションズ	3
BOSCH SECURITY SYSTEMS	9
フリーアシステムズジャパン	表二
HIKVISION DIGITAL TECHNOLOGY	21
ジャバテル	33、34、35
ジェネテック	12
MESSE FRANKFURT NEW ERA MEDIA	38、41、43
ネットカムシステムズ	31
日本ヒューレット・パッカード	12-13
日本経済新聞社	表三
ソニー	13
サンシステムサプライ	11
店舗プランニング	6-7
VIVOTEK	表一、4-5

次号案内

2014年 5/6月号(5月12日発行予定)

特集

低照度&IRカメラ

製品特集

ネットワークカメラ

個別市場

製造業

連載

市場慧眼、SMAhome

(誌面の都合上、変更になることがあります)

a&sJAPAN

©ASJ社 2014年 3-4月号 No.39

The Professional Magazine Providing Total Security Solutions

発行人 小森堅司 印刷 新日本印刷

a&sJAPANは、Messe Frankfurt New Era Media発行のa&s International、a&sAsiaをはじめとするa&s各誌の独占翻訳権を特約して、発行するセキュリティ国際情報誌です。

ASJ社

Advanced Security Journal Corporation

東京都千代田区神田須田町1-7-1ウィン神田ビル10階 〒101-0041

電話：03-6206-0448 FAX：03-6206-0452

■広告に関するお問い合わせは

E-mail：komori@asj-corp.jp

■購読に関するお問い合わせは

E-mail：reader@asj-corp.jp

■記事情報提供に関するお問い合わせは

E-mail：info@asj-corp.jp

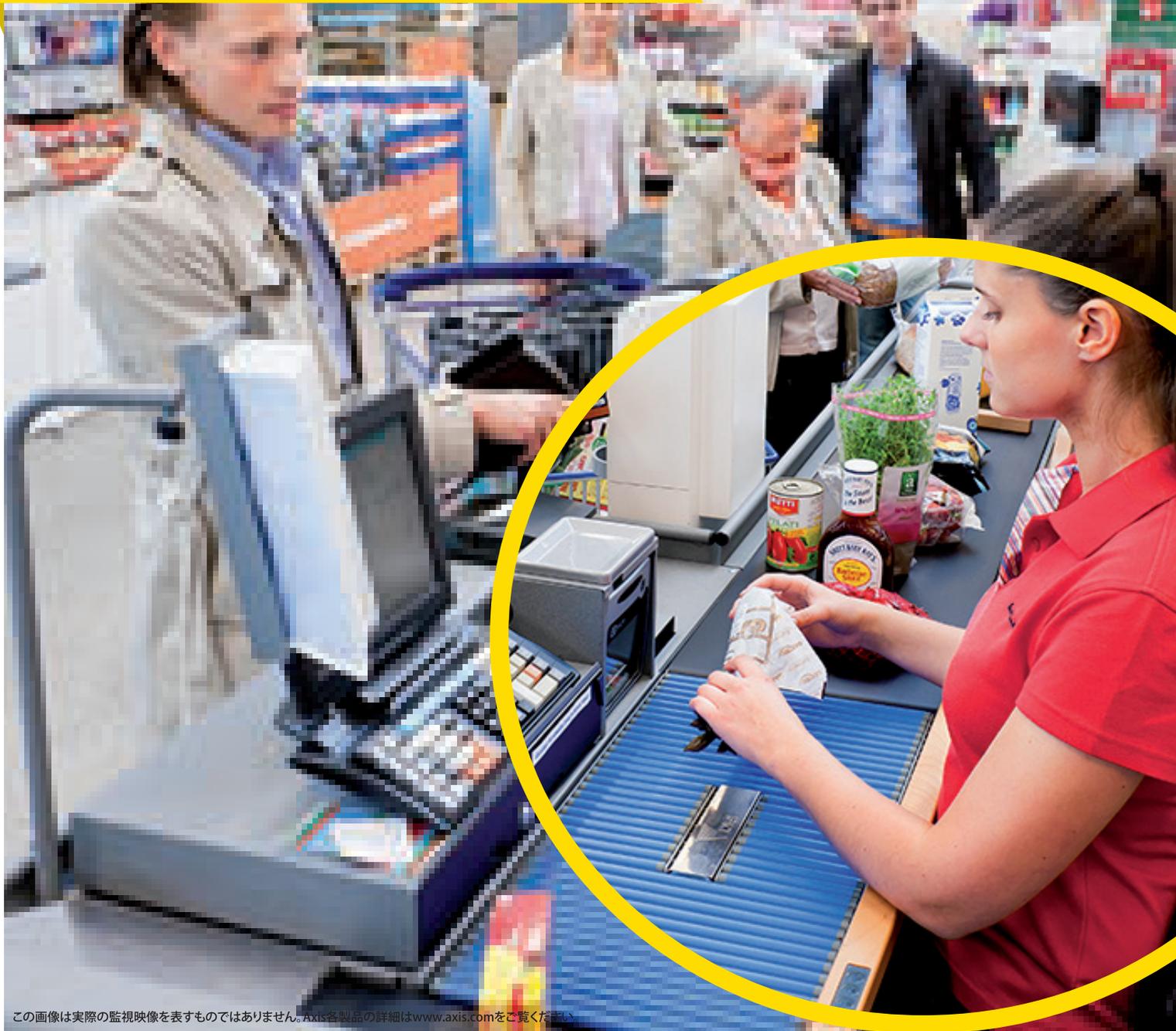
■DM代行サービスおよび電子メール配信サービス

当社では、企業の依頼によりDMまたは電子メールで情報をお届けすることがあります。

これらのサービスでは、読者の皆様の個人情報を当該企業には一切公開しておりません。

見るべき対象はどこですか？

全体も、特定の個所も「きちんと見える」



この画像は実際の監視映像を表すものではありません。Axis各製品の詳細はwww.axis.comをご覧ください。



監視カメラを選ぶ際、どのような「画質」を重視していますか？カタログスペックに並んだ数値と価格だけで、要件は満たせるでしょうか？

例えば、店舗入口、売り場、レジ、バックヤードでは、それぞれ、必要な画角、明るさ、映像の精細さが異なるのではないのでしょうか？一律で解像度だけを追求すれば良いとは限りません。

大切なのは、どんな場所でも「きちんと見える」映像を実現すること - Axisはネットワークビデオの世界的リーダーとして、あらゆる状況でお客様にとって有用な映像を実現できるよう、日々努めています。

Axisの映像監視で、一歩先を進みましょう。

HDTV品質に対応したAxisのネットワークカメラは、自然な発色を再現した質の高い映像を提供します。被写体を詳細に捉えたい場合に特に有用です。



www.axis.com/imageusability

AXIS[®]
COMMUNICATIONS

サイモン・キング氏の Wildlife が

VIVOTEK ネットワークカメラによって自然を人々により身近にする



野生生物に対する心のこもった情熱

SimonKingWildlife.com の創設者であるサイモン・キング氏は、高い評価を受けている自然主義者で、自然界に強い愛情と情熱を注いでいます。自然に対する熱烈な愛情によって、サイモンは野生生物の保全と観察にそのキャリアを完全に捧げてきました。12歳のときに自然に関する初めての映画を製作したサイモンは、大人になって以降野生生物に関する多くのテレビ番組や映画を製作、監督、ホストしています。また複数の権威ある国際的な賞を受賞しており、野生生物への最大の貢献者の一人と評価されています。これらの賞には、エミー賞（米国テレビ芸術科学アカデミー）の撮影賞、BAFTA 賞（英国映画テレビ芸術アカデミー）のドキュメンタリー部門撮影賞が含まれ、また保全と野生生物撮影への貢献に対して大英帝国勲章を授与されています。2013年、サイモン・キング氏は野生生物に関するリソースと観察記録をまとめたオンラインプラットフォーム、SimonKingWildlife.com を設立しました。

近距離での野生生物モニタリングは、彼らの本質的な注意深い性質と、新しいもの、変わったものに対する疑念のために、たくさんの方が生じることがあります。予測できない気候も野生生物観察におけるもう一つの変数です。

さらに、野生生物に興味を持つ多くの人々は自分で自然界の場所を訪れる十分な時間がないことがあります。これらの複雑な懸念を考慮して、サイモンはより自然を視聴者にとって身近なものにするため「ライブカメラ」セクションを設けました。視聴者は IP ネットワークカメラによってキャプチャ・送信されるライブビデオストリームを介して、簡単にさまざまな場所の野生生物をリアルタイムで見ることができます。

鮮明なモニタリングを実現する卓越した画質

野生生物のリアルタイム 24 時間モニタリングのために選ばれる IP ネットワークカメラは、極めて堅牢で、高画質の機能と過酷で変化に富んだ自然環境に対応できる強靭性を備えている必要があります。また、先を見越した動物の動体検知にはインテリジェントなビデオ管理ソフトウェア（VMS）が必要であることも重要です。インテリジェントな VMS を採用することで、野生動物の動作や活動がリアルタイムでトリガーされ、通知され、記録されます。これらの要件に基づいて、サイモン・キング氏は英国の一流 VMS メーカーである iCode Systems 社に相談しました。iCode Systems 社のディレクターであるヒュー・エドワーズ氏が強く推薦したのは VIVOTEK の屋外用

ネットワークカメラ IP8332-C と、iCode Systems の VMS iCatcher との完全統合が可能なミニボックスネットワークカメラ IP8152 です。そしてこのソリューションがサイモン・キング氏の要件を満たすため選択されました。

現在、サイモンはハヤブサときつねの観察用にロンドン地区に設置した 1 台、カワウソやカワセミ、ムナジロカ



ワガラス、アナグマの観察用にサマセット郡に設置した 1 台、タカ、ノスリ、カラスの観察用にウェールズに設置した 1 台を含め、英国内の 5 地点に野生生物のリアルタイムモニタリングをセットアップしています。このプロジェクトでは、VIVOTEK の IP8332-C と IP8152 カメラがきわめて重要な役割を果たしています。砲弾型ネットワークカメラ IP8332-C は、多様な屋外用途向けに設計されており、1 メガピクセル CMOS センサーとデナイト機能用リムーバブル IR カットフィルタを搭載、高画質・高解像度の動画撮影を可能にします。過酷な屋外環境に対応するために、カメラは IP66 規格のハウジングと耐候性ケーシングで守られています。また、IP8332-C はブラケットを利用したケーブル配線によりさらに強化されており、屋外設置に理想的なモデルとなっています。続いて優れた夜間可視機能を搭載した IP8152 は、低光量環境でも卓越した画質を実現します。ビルトインの IR カットフィルタと組み合わせ、赤外線照射装置を使用することで夜間の可視性の範囲がずっと広がり、夜間の野生生物の活動をはっきりと識別し、記録することができます。

期待を超越する、ライブパフォーマンス

「VIVOTEK カメラの画質とパフォーマンスには、感

心しました」とサイモン・キング氏は熱心に語ります。「サイトのライブカメラセクションは、野生生物の魅力の世界中のできる限り多くの人々と共有するためにデザインされています。ヒュー・エドワーズ氏のプロフェッショナルな助言とサポートのおかげで、VIVOTEK のカメラとを iCode Systems のインテリジェント VMS i-Catcher を選ぶことができました。その後、VIVOTEK のカメラ

を配備したカメラシステムと、iCatcher による俊敏なリアルタイムの監視および記録を通じて、我々は素晴らしい、極めて珍しい野生生物のイベントの撮影に成功しています！今後、新たに観察サイトをセットアップするときはいつでも、VIVOTEK のカメラが一番のチョイスになるでしょう」。

「監視ソリューションとその性能がサイモンの要件を満たすだけでなく、彼の期待を超越するものであったことをとても嬉しく思います」とヒュー・エドワーズ氏は言います。「動体検知を使用して通過する野生生物の記録をトリガーする当社の i-Catcher VMS と統合することで、監視システム全体が真に容易な野生生物のモニタリング・録画ソリューションを提供することができます」。■



VIVOTEK
VIVOTEK INC.

Add : 6F, No.192, Lien-Cheng Rd., Chung-Ho, New Taipei City, Taiwan
TEL : +886 2 8245-5282
Email: sales@vivotek.com
www.vivotek.com

secutech
19-21 March 2014 | Taipei, Taiwan

Booth No.:
6101



BOSCH



Total Solution of

TP TENPO PLANNING



ローエンドからハイエンドまで 様々なシステムの構築

CNB
TECHNOLOGY Inc.



TP TENPO PLANNING 株式会社 店舗プランニング

関西支店 仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所 技術センター PT. TENPO PLANNING(インドネシア)

WEBGATE



世界で認められた機器で、 最適なセキュリティシステムを

店舗プランニングの主要商品は、空港・スタジアム・カジノ等、様々な国のハイエンド案件で多くの実績があるBosch Security Systems, 世界各国の警察や軍隊での実績があるCNB Technology, HDcctv協会より3年連続で、コンプライアンスリーダーシップ賞を受賞したWEBGATEと、世界で認められたメーカーの商品です。

店舗プランニングでは各メーカーの特色を最大限に生かし、一般住宅やマンション、大規模商業施設や工場、学校や病院等、ローエンドからハイエンドまで、最適なセキュリティシステムの提案を行います。



SECURITY SHOW 2014 出展いたします。

東京ビッグサイト 東2・3ホール

2014年3月4日[火]～7日[金] ブース番号SS3421

主な展示品

BOSCH:4Kカメラ / CNB:Monalisa4搭載カメラ / WEBGATE:高画質FullHDカメラ

SeeEyes®

クマヒラ、食品工場向け映像監視システムをバージョンアップ

クマヒラは、同社映像監視システム「GGシリーズ」に食品工場向けの機能を追加した。

【録画装置に縦長フォーマット機能を追加】

監視カメラの通常映像アスペクトは4:3または16:9だが、狭い通路や細長いラインを効率良く監視できるように、映像を縦長に表示する「コリドールフォーマット」を録画装置「SX-H2」に採用



し、2014年4月にバージョンアップする。これにより、撮影場所に合わせてカメラごとにコリドールフォーマットが選択可能となる。

【複数メーカーの360度全方位カメラに対応】

録画装置「SX-H2」は、アクシスとソニーとパナソニック製の360度全方位監視カメラの接続に対応し、録画装置内で画像補正を行うことができるため、空間全体の映像を効率良く監視することが可能となる。



ボッシュ セキュリティ システムズ、代表取締役丸岡豊一氏が就任

ボッシュ セキュリティ システムズをはじめ、プロサウンドシステムおよび会議システムなどの事業を展開している株式会社イーブイアイオーディオジャパンは、2014年2月1日付で、丸岡豊一氏が代表取締役に就任したことを発表した。

丸岡氏は1957年生まれで、東京都立大学卒業後日本IBMに入社。2008年アクシスコミュニケーションズに入社し戦略営業本部ディレクタに就任。2010年Bosch Security Systemsに入社、ビジネスデベロップメントマネージャーに就任していた。

ボッシュ セキュリティ システムズは、ITおよびセキュリティ業

界における豊富な経験と実績を持つ丸岡豊一の代表取締役就任により、IPネットワークカメラ市場において、さらにビジネスを拡大していく。特に2014年からは製品ラインナップのさらなる拡充、5M/8Mタイプのネットワークカメラの販売開始など、これまで以上に積極的に事業展開を図る。

その一方で、IT分野との連携やVMS各社やシステム構築企業との関係強化など、映像監視市場の次世代ソリューションに向けた取り組みを強化するものとみられる。



MILESTONE SYSTEMS社、日本事務所を開設

VMSの国際ブランドXProtectを供給しているMILESTONE SYSTEMS社は、2014年2月1日付けで日本事務所としてMILESTONE SYSTEMS JAPANを開設した。日本代表にエリック・フリース・モンドーフ氏が就任した。モンドーフ氏はこれまでデンマーク大使館商務官としてMILESTONE SYSTEMS社をはじめ複数のデンマーク企業のBtoB事業を支援してきた実績を有する。

MILESTONE SYSTEMS JAPANは、VMSソフトウェアの日本市場での普及に積極的な営業を展開しているパートナー企業を支援する活動を本格的に開始する。新事務所は下記の通り。

〒100-6208 東京都千代田区丸の内1-11-1
 パシフィックセンチュリープレイス8階
 TEL : 03-6860-8462 FAX : 03-6820-8201
 メールアドレス : em@milestonesys.com

VTCエレクトロニクス、日本映像システムに社名変更

VTCエレクトロニクスは下記の通り2014年より1月1日より社名を日本映像システムに社名変更した。なお、住所および電話番号は従来通りだが、URLとメールアドレスは変更になっている。

新社名：日本映像システム株式会社
 略称：JVS

英語名：Japan Video System Corporation.
 URL : http://www.jvs.co.jp
 e-mail : info@jvs.co.jp

〒231-0033 横浜市中区長者町2-6-3 シティ・ハーズ長者町ビル7F
 TEL : 045-250-3822 FAX : 045-250-3823

New!



BOSCH
Invented for life

エントリーモデル IP micro 2000シリーズ、 HD 1080p/5MピクセルのIP 5000シリーズ、好評発売中!

●固定ネットワークカメラ

IP micro 2000 シリーズ



NPC-20002-F2
VGA、屋内対応
NPC-20012-F2
HD 720p、屋内対応

●固定ネットワークカメラ

IP bullet 5000 HD



NTI-50022-V3
HD 1080p、屋外対応、
赤外線照明内蔵

●固定ドームネットワークカメラ

FLEXIDOME IP micro 2000 シリーズ



NUC-20002-F2
VGA、屋内対応
NUC-20012-F2
HD 720p、屋内対応

●固定ドームネットワークカメラ

FLEXIDOME IP micro 5000シリーズ (屋外対応)



NUC-50022-F2 : HD 1080p
NUC-50022-F2M : HD 1080p、
車載対応
NUC-50022-F4 : HD 1080p
NUC-50051-F2 : 5Mピクセル
NUC-50051-F2M : 5Mピクセル、
車載対応
NUC-50051-F4 : 5Mピクセル

●固定ドームネットワークカメラ

FLEXIDOME IP indoor 5000 シリーズ (屋内対応)



NII-50022-V3
HD 1080p、
赤外線照明内蔵



NIN-50022-V3
HD 1080p
NIN-50051-V3
5Mピクセル

●固定ドームネットワークカメラ

FLEXIDOME IP outdoor 5000 シリーズ (屋外対応)



NDI-50022-V3
HD 1080p、
赤外線照明内蔵



NDN-50022-V3
HD 1080p
NDN-50051-V3
5Mピクセル

● Boschセキュリティ製品に関するお問い合わせ先

Bosch Security Systems

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-1 ボッシュビル赤坂9F

TEL. 03-5485-4427 sales@boschsecurity-jp.net www.boschsecurity-jp.net

屋内GPS市場、2018年の売り上げを350万ドル超と予測



建物内部を人間や対象物を正確にリアルタイムで検索する必要性から、屋内用GPSシステムの需要が伸びている。小売業、ゲームセキュリティやマーケティング、ゲームなど複数の分野で、位置共有や資産追跡、緊急事態管理やナビゲーション、コンテキストアウェア配信などで屋内GPSシステムを採用している。

フロスト&サリバン社の新しい調査報告書では、革新性を備えた屋内GPSの市場は2018年までに350万ドルに達すると予測している。この調査には、利点や課題、参入企業やバリューチェーン、技術やアプローチ、分析者の洞察力、重要な特許、技術革新と適用性、屋内GPS技術の未来などが記載されている。

屋内測位のために使用される最も一般的なツールは、BluetoothやWi-Fiなどセンサとの通信ネットワークの様々なタイプが含まれる。しかし、これらの方式は、ユーザが期待する精度範囲のレベルを欠いている。

「市場が重要なアプリケーションでの使用法を拡張し、実装および統合で複雑さを増大させることなく、精度の高い水準を維持しなければならない」とフロスト&サリバン社技術調査アナリストのデバルン・グハ・サクルタ氏は指摘する。「開発者は、最適精度で屋内環境での人間や物体の発見用に、新しく費用対効果の高い技術を確立するために大規模な研究投資の必要がある」。

ソリューション・プロバイダは現在、通信や照明など他の目的のために設計された技術を利用しているように、屋内GPSソリューションのための標準的な技術を作成する必要がある。標準化団体との技術の収束と連携は、この要件に対処することが重要だ。

「技術開発者や投資家は、GPSのサポートなしで屋内外でシームレスな測位サービスを提供し、統一測位技術を開発しようとしている一方、最適精度と適用範囲を確保できる個々の技術の欠如は、複数の近未来技術に結びつく可能性がある」とサクルタ氏は見ている。

IMSリサーチ社、世界の機械式鍵市場の3つの潮流を紹介



IMSリサーチ社は、最近の機械式錠と周辺機器市場に関する報告書を発表した。同報告書によると、2013年の電磁式、電気式、機械式、出口機器および付属品などの錠製品の世界市場は52億ドルと推測。そのうち機械式が全体のための43.2%を占めた。その他世界の機械式鍵市場の3つの潮流を紹介している。

【相互接続錠】 同報告書によると、多点錠と呼ばれる相互接続錠は、2013年から2017年は4.9%の年複利成長率で世界的に成長した機械式錠と推定している。相互接続錠は、屋内ノブやレバーで扉を開けた時に単一内部構造により制御できるデッドボルトを兼ね備えている。相互接続錠は、それらの利便性と強固なセキュリティへの人気が高まりから、主に集合住宅の用途に使用されている。同報告書では、相互接続錠の採用増加により、西欧州と北米市場で最も一般的で伝統的なデッドボルトの売り上げにマイナスの影響を与えることになると予想している。

【材料費の上昇】 2014年には機械式錠の平均販売価格が、北中南米で1.0%、EMEA地域で0.5%上昇すると見ている。低コストを誇るアジア・メーカが、ここ数年間にこれらの地域でそ

の存在感を増してきたが、材料費の上昇で価格も上昇傾向で、価格競争による平均販売価格の低下と相殺すると予想している。

機械式錠は、アプリケーションや地域の嗜好に応じて、多くの異なる仕上げとデザインが用意されているが、同報告書では、亜鉛と銅と鉄の3つの材料が機械式錠で最も一般的に使用される素材としている。これらの材料コストの上昇は、最終的に消費者に転嫁されることを想定して、2014年のコスト増を示唆している。

アジア市場は、安定した材料費の価格と強力な価格競争により、機械式錠の平均販売価格の低下が見込まれている唯一の地域である。

【グレード・レベル2の錠】 IMSリサーチ社は、ANSI基準に基づくグレード・レベル2の機械式錠は2013年から2017年までに年複利成長率4.3%で、世界で最も成長する製品と見ている。これは、米国と欧州の商業建築だけでなく、新興地域でグレード・レベル2の使用が増加するという予測に基づいている。グレード・レベル2の錠が最も一般的に使用される標準的な錠と位置付けられている。グレード・レベル2の錠は、2017年までに世界で販売される全ての機械式錠の30%超を占めると予測されている。

1 台の Edge サーバから数千台の Enterprise システムまで



- exacqVisionEDGE サーバ
- ・カメラ上で動作
 - ・4GB ~ 128GB
 - ・カメラに依存



- exacqVisionUSB モジュール
- ・exacqVision サーバ用
 - ・IO、オーディオ拡張



- exacqVisionS- シリーズ
- ・EDGE 用アーカイバ
 - ・4TB~32TB
 - ・Linux



- exacqVisionLC- シリーズサーバ
- ・Hybrid/IP
 - ・500GB~4TB
 - ・Linux



- exacqMobile
- ・Android 端末、iPhone/iPad
 - ・無償アプリ



- exacqVision 専用ジョイスティック



All in exacqVision

exacqVision
start
exacqVision
professional
exacqVision
enterprise
exacqVision
virtual



exacqVision **EL-Series**



小規模向

- exacqVisionEL- シリーズサーバ
- ・Hybrid/IP
 - ・アナログ 16 台 /IP16 台
 - ・500GB~4TB
 - ・Linux

exacqVision **A-Series**



中規模向

- exacqVisionA- シリーズサーバ
- ・Hybrid/IP
 - ・アナログ 64 台 /IP64 台
 - ・1TB~14TB
 - ・Windows/Linux

exacqVision **Z-Series**



大規模向

- exacqVisionZ- シリーズサーバ
- ・Hybrid/IP
 - ・アナログ 64 台 /IP128 台
 - ・4TB~80TB
 - ・Windows/Linux



exacqVision 製品についてのお問い合わせはこちら

SECURITY SHOW
2014年3月4日(火)~7日(金)

出展いたします。
小間番号：SS3215
ジャパテル社と共同出展です。

exacqVision 国内総代理店 サンシステムサプライ株式会社
〒167-0021 東京都杉並区井草 3-32-2 営業技術部
TEL：03-3397-5241 E-mail：info@sunss.co.jp



映像監視用ストレージ市場、2018年までに104億ドルとなると予測



ハード・ディスク・ドライブのコスト削減、監視システムの拡張性の増加、高い投資回収率と柔軟性が、映像監視用ストレージ市場の将来を形成する上で大きな役割を担っている。政府機関や企業が、データの長期保存規制や、監視データ用ストレージ・ソリューションを実施していても、多くの企業は、さらに拡張性の高いストレージ・ソリューションへの切り替えを行っている。これにより、監視用ストレージの効果的かつ安全な数年間のデータ保存と、コスト効率の高いソリューションが提供されている。

マーケット&マーケット社は、世界の映像監視用ストレージを、技術とソリューションにより次のように分類している。直接接続ストレージ(DAS)、ネットワーク接続ストレージ(NAS)、ストレージ・エリア・ネットワーク(SAN)、デジタル・ビデオレコーダ(DVR)、ネットワーク・ビデオレコーダ(NVR)、ハイブリッド・ストレージ。また、同社は、メディアの種別により、HDD/SSD/リニアテープ/磁気ディスクと分類している。

また、設置方法によりクラウド展開と自社運用、専門的なサービスの種類により、コンサルティング/設計/システム統合/保守サポートに分類している。ユーザの種類により、政府/企業/消費者/家庭にも分け、地域により、北米/アジア太平洋/欧州/中東およびアフリカ/ラテンアメリカに分化している。

この市場を牽引している大きな動力源が、ハード・ディスク・ドライブの低価格化、監視システムと高い投資回収率の導入である。そのため、映像監視ストレージ・ソリューションの提供企業は、政府機関や企業向けのストレージ・ソリューションとサービスを用意し、市場競争での優位性を得ることを期待している。

マーケット&マーケット社では、世界映像監視用ストレージ市場を2013年が49億ドルと推定し、2018年には104億ドルに成長することを強調している。これは2013年から2018年まで16.3%の推定複利成長率となる。現在のシナリオでは、北米が映像監視用ストレージ・ソリューションおよびサービスの世界最大市場と見ている。同社は、さらに発展途上国での映像監視用ストレージ市場が、市場の成長を加速するとしている。



貴方のセキュリティ
システムの
DNAは？



自在に選べる、堅固な統合セキュリティシステム

実績豊富なオムニキャスト・ビデオ監視システムを搭載したSecurity Centerから始めましょう。入退室管理、侵入検知、資産監視、ビル管理などのビジネスシステムが次の展開となります。すべてのシステムと設備でモニター、アラーム管理、レポートを統合します。進化する統合のかたちをご覧ください。

Security Show2014 (東京ビッグサイト東2・3ホール) の弊社ブースへお立ち寄りください
2014年3月4日-7日 小間番号 SS3233

ビデオ監視システム | 入退室管理システム | ナンバープレート認識システム

革新的ソリューション





カラーカメラモジュール

FCB-HDシリーズ

NEW

1/2.8型 Exmor™ CMOS (約238万画素)

Full HDモデル(1080p/60)

FCB-EV7500 光学30倍

FCB-EV7100 光学10倍

1/3型 Exmor™ CMOS (約137万画素)

HDモデル(720p/60)

FCB-EV5500 光学30倍



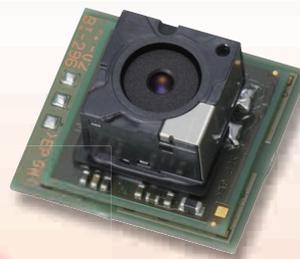
搭載機能

- Defog
- Wide-D
- Visibility Enhancer (VE)
- ノイズリダクション (3D+2D)
- イメージスタビライザー(手ブレ補正) : FCB-EV7500, FCB-EV5500
- Auto ICR
- デジタルズーム12倍
- プライバシーゾーンマスキング
- モーションディテクション
- カラーエンハンスメント
- スローAE レスポンス
- 温度読み出し

FCB-microシリーズ

1/2.45型 Exmor™ CMOS (1319万画素)

FCB-MA130



高解像度画像出力

- 動画(Full HD) : 最大サイズ1920(H)×1080(V)
- 静止画(13Mega) : 最大サイズ4192(H)×3104(V)

小型・軽量

- 外形寸法 : 16.5(W)×10.3(H)×18.0(D)mm
- 質量 : 約2.2g

搭載機能

- イメージスタビライザー(手ブレ補正)
- 顔検出
- ATR
- 逆光補正
- ノイズリダクション
- ピクチャーエフェクト : 左右反転(ミラー)、上下反転(E-Flip)



日本ヒューレット・パッカー製 ワークステーション、 VMS活用で優れた機能を発揮



これからの映像監視システムのあるべき姿の1つとして、VMS(映像監視ソフトウェア)によるプラットフォームがある。様々なインテリジェント機能を駆使するだけでなく、1秒間の画像フレーム数(fps)が60フレームまでを要求されるVMSを採用したソリューションでは、映像データのグラフィック処理能力が極めて重要となる。そのため、VMSの能力を最大限に生かす環境が、インテル® Xeon® プロセッサーを搭載し映像データの高速処理を実現するワークステーションの導入である。

本稿では、日本ヒューレット・パッカー(HP)製ワークステーションを採用して、VMSの国際ブランドであるデンマークのマイルストーン・システムズ社XProtectの能力を発揮している映像監視システムについて、KTワークショップの大平智博氏に導入実態と、ワークステーションとVMSとによる映像ソリューションの優位性について取材した内容を紹介する。

【KTワークショップ】

1986年設立のKTワークショップは、まず入退管理(アクセスコントロール)分野でセキュリティ市場に参入し、その後入退管理システムを可視化するシステム構築のために、2006年からマイルストーン社XProtectを日本市場で積極的に展開してきた。XProtectによるこれまでのVMS導入案件実績は群を抜いており、数多くの業種別市場での導入を誇っている。

一方、映像監視システムが映像の情報化すなわちインテリジェント化へと進化し、さらに映像がHD化やフルHD化に移行してきたことで、処理する映像容量が急激に増加した。そこで、KTワークショップでは、HP製ワークステーションを導



入することで、懸案だった高速演算処理とグラフィック処理を解決している。

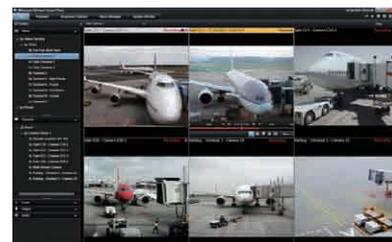
【映像活用場面の拡大】

映像監視システムは、基幹系システムのようにオフィスでの業務遂行時に稼働させるだけでなく、長時間稼働することが求められる。そのため、ハードウェアに求められる信頼性と堅牢性は高いレベルが要求される。この点について大平氏は、幾つかの製造業における導入事例を念頭に置いて、次のように説明している。

「一般の方は、映像監視という言葉から防犯とかセキュリティをすぐに連想するが、製造業における映像活用は生産管理や品質管理そして業務改善等にまで拡大している。しかも生産ラインを24時間映像記録している場合もあり、実質的には長時間の映像確保が求められている。そのため、当社の提案するシステムでは、その中核に高性能PCでなくワークステーションを採用することを推奨している」。

【HP製ワークステーションの優位性】

HP社製ワークステーションは、インテル® Xeon® プロセッサーを採用していることで高いCPU性能を実現し、さらに幅広いラインナップの中から最適のグラフィック・ボードを選択することができる。また、ソリューションに対応して複数のHDDを搭載することができる。そして、電源などの信頼性については「高性能PCの比ではない」(大平氏)こと



XProtectの画面

にも注目すべきだろう。KTワークショップの構築する監視システムの信頼性を確保したるものになっていると言える。

【ハードウェアとしての信頼性】

HPでは、ワークステーションについて落下・振動テストから湿度や温度や電子顕微鏡によるコネクタの検査など様々な試験や品質管理を徹底して行っている。また、全てのデスクトップ・ワークステーションは、筐体内でRAID1のミラーリングを構築することが可能で、万が一の事態に備えることもできる。

HPの検証済みのドライバーにより、搭載する高性能グラフィック・ボードの信頼性は高く、快適な多画面の環境も構築が可能だ。またHPのワークステーションは信頼の東京生産のため、監視映像システムを一層安心して使用することができる。

【Z230SFF】

現在KTワークショップが主に採用しているHP製ワークステーションは、省スペース型のZ230SFFである。本製品は、拡張性・信頼性を備えたエントリー用ワークステーションで、最新のインテル®アーキテクチャーを採用したインテル® Xeon® E3-1200v3ファミリーを搭載。アプリケーションの起動を速めるイン

テリジェント・ディスク・キャッシングにも対応している。DDR-3 1600MHzでの動作をサポートし、メモリ

バンド幅の向上を実現。最大4コア(8スレッド)CPU、高性能グラフィック・ボード、最大32GBまでのメモリ搭載が可能となっている。

また、Z230SFFはミニタワー型のZ230と比べて約1/3の体積となるコンパクトなボディを採用している。筐体は幅100mm x 奥行き381mm x 高さ338mm、質量が約7.6kgと小さいものの、最新のプロセッサやグラフィックスに対応しており、省スペースでもワークステーションの性能を実現している。

設置スペースが限られていることが多い映像監視システムの場合でも、ワークステーションの高性能が求められる案件に適したコンパクトモデルとなっている

【HP社のサポート体制】

またKTワークショップの大平氏は、HP製ワークステーションのサポート体制がシステムの安定稼働を支えていることも指摘している。同社はVMSのシステム構築企業であり、様々なメーカーのシステムの障害切り分けサービスを提供してユーザが安心してシステムを使用できるようにしている。クライアントである、ワークステーションについてはHP社のサポートと連携している。

HP製ワークステーションのサポートは、標準保証として、3年保証サービス(3年間ハードウェア・オンサイト、休日修理付翌日対応、3年間パーツ保証)を実施しているため、安心できる。さらに、保証期間を最大5年間へ延長可能、当日出張訪問修理サービスなど、長期使用の監視システムに対応したオプションHP Care Pack サービスが用意されていることも心強い。



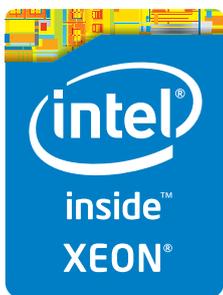
HP Z230SFF Workstation

【ワークステーションの重要性】

このように、HP製ワークステーションは、心臓部にインテル®アーキテクチャーを採用したインテル® Xeon® E3-1200v3ファミリーを搭載し、またハードウェアの高い信頼性を兼ね備え、そして、システム規模に応じたサポート体制を提供することができる。

KTワークショップの大平智博氏は、「これまで3年以上にわたりHP製ワークステーションを導入してきたことで、ソリューション全体にも高い評価をいただいている」と語り、「システム導入されたお客様側にも、ワークステーションの優位性を認識いただいている」と説明している。

そして、「高性能PCとわずかな価格差によりワークステーションを導入することができ、システムを格段にレベルアップできることを今後も積極的に提案し推奨する考えだ」と語る。



Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Core Inside、Intel vPro、vPro Inside、Celeron、Celeron Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、Xeon、Xeon Phi、Xeon Inside、Ultrabook は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation の商標です。Microsoft®、Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。引用された製品は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。



2014年：顧客の投資利益率の向上に向けた努力

2013年も終わり、新しい年である2014年への期待が高まる。市場には様々な課題があり、景気動向も不確実だが、システム構築会社数社取材した結果、顧客の投資利益率の向上こそが市場シェアを高めるための方策であることが判明した。

世界のセキュリティ市場は依然として極めて健全に成長している。2013年にこの成長を牽引したのはアジアとその他の地域の新興諸国だ。エンドユーザは、セキュリティ関連の支出をより強く意識するようになった。セキュリティ各社は不確実な景気情勢の中で、顧客の投資利益率の向上のための努力を続けている。

2020年までアジアがリード

全世界のセキュリティ市場は、他の業界と比べると不況下でも堅調を保っていた。IHSの調査によると、物理セキュリティ機器とサービスの業界規模は2012年に世界全体で1,100億米ドル、北中南

米での売り上げが全体の40%以上を占めていた。IHSの映像監視、セキュリティサービス部門上級アナリストのデイビッド・グリーン氏は、「世界経済が全般的に持ち直しつつあり、業界全体の収益は2017年には1,700億米ドルに達すると予測される。ただし、成長率がピークを迎えるのは、おそらくそれよりも前だろう」と書面で回答している。

グラフ1に示すIHSの予測によれば、2012年から2017年までの米国市場における成長率は43%であるのに対し、アジアの成長率は80%、EMEA(欧州、中東、アフリカ)は約42%になる見通しだ。アジアは2020年までに北米を追い抜き、最大のセキュリティ市場になると予測される。

メモリー社は、「北米と欧州の先進国市場は、アジア特に中国にシェアを奪われつつある。2020年には、単一の市場として中国が世界最大になるだろう」と指摘している。

健全な成長を維持した2013年だが、景気の不確実性が影を落とす

2013年の全世界のセキュリティ業界は、緩慢だった2012年と比べて健全な成長を維持した。メモリー社によると、2013年のセキュリティ製品の生産高は全世界で234億ドルに達し、2012年の206億ドルから増加している。2012年から2013年の成長率は約13%だ。2013年の世界セキュリティ市場の状況は、2012年と同様、北米と西欧州では単調な伸びであるのに対し、アジアを中心とする新興地域では力強い成長が見られた。

公共部門の支出が低調なことや、世界経済の不確実性など、2013年に見られた課題は、そのまま2014年の全世界のセキュリティ市場に持ち越されると予測される。ただし、こうした課題にも関わらず、2013年の業界で見られた成長要因が、2014年に開花の時を迎える。既存のセキュリティ企業の多くが、



エンドユーザに費用対効果の高いセキュリティ・ソリューションを提供できるか、改装案件で売上を伸ばせるかが、2014年の焦点になる。



この1年間で自身の道筋の再構築に取り組み、IPベースの技術を活用できるようになった。IT各社が続々とセキュリティの分野に参入し、安定した成長に繋がっている。その一方で、大学構内における銃撃事件、ボストンマラソン爆発事件、サッカーW杯を間近に控えたブラジルにおける暴動、中東の社会動乱など、様々な事件が引き金になり、セキュリティが強化された。2014年、教育とスポーツ行事がセキュリティの需要をさらに喚起する可能性がある。

2014年：顧客の投資利益率の向上

業種を問わずセキュリティに妥協は禁物とはいえ、北米と西欧州を中心として、全ての市場が不確実な景気情勢の影響下にある。どの市場分野でも、新規案件数が減ったり、延期されたりする傾向が見られる。2013年は、新興諸国でも同じような状況が見られた。緊縮予算のため、エンドユーザはセキュリティ・シ

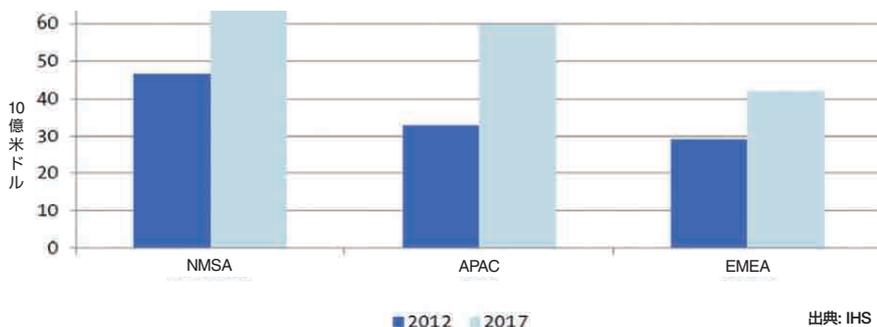
ステムの投資利益率を意識している。エンドユーザに費用対効果の高いセキュリティソリューションを提供できるか、改装プロジェクトで売上を伸ばせるかが、2014年の焦点になる。

新しい技術による投資利益率の向上

エンドユーザの投資利益率を向上させる新しい技術とソリューションを提供しようと、各社がしのぎを削っている。小売業と中小企業部門では、マーケティングやビジネス情報化に利用できるIP映像監視、情報化映像など、新しい技術の導入が始まっている。2014年、小売業を中心とする中小企業部門は、ある程度の成長が期待できる。テク・ナヴィオ社の市場分析によると、全世界の小売業向けの情報化映像監視市場は、2012年から2016年までに27.1%の成長が見込まれる。重要な要因の1つが、より鮮明な画質や手頃な価格のIP情報化映像の需要の拡大だ。大手システム構築会社のタイコ・インテグレート・セキュリティ社は、よりオープンな統合型アーキテクチャのVMSを切り札に、中規模企業市場で存在感を高めている。

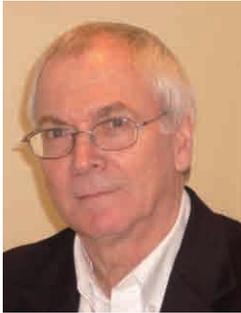
「高級小売店やチェーン店では、旧式のアナログシステムの代わりに、より先進的な高解像度IPソリューションを導入する動きが見られる。さらに高級志向の店舗では、やみくもにコストを切り詰めるのではなく、本当の要求が考慮されるようになった」と英国システム構築会社、コントロールド社先進技術コンサルタントのマイケル・ライズ氏は語る。

グラフ1: 物理セキュリティ機器、サービスの世界収益予測、2012~2017年



全世界のセキュリティ市場規模は2013年の234億ドルから2017年には322億ドルに達すると予測

寄稿: メモリー社事業情報担当取締役アラン・マクヘイル氏



2013年の全世界のセキュリティ製品の生産高は、工場出荷価格で234億米ドルに達した。その内訳は、映像監視製品が123億米ドルで全体の52%を占め、入退管理製品が51億米ドルで22%、侵入検知警報機器が60億米ドルで26%だった。

これらの数字を2008年と比較すると、世界市場は過去5年間で約4.5%のペースで成長してきた。

経済貿易が低迷していた時期であることを考慮すれば、非常に良い数字といえる。主な要因としては、計12%の成長率を示した映像監視製品と、物理セキュリティ・システムのシェアを39%以上にまで伸ばしたアジアの高水準の需要が挙げられる。それと比較すると、北米と西欧の成長は、はるかに控えめだ。現在、欧州、スカンジナビア、北米の先進国市場が世界全体の売上に占めるシェアは約47%で、昨年水準から2%後退している。

メモリー社では、今後5年間の成長率は8%以上、市場規模は2017年に322億ドルに達すると予測している。楽観的な予測と思われるかもしれないが、世界各地の新興

市場には、まだ顕在化していない莫大な需要が手つかずのまま放置されている。

欧州では、公的債務の支払いのため公共部門の予算が縮小される見通しだ。その結果、幾つかのEU諸国で公共部門の需要が減少するのはほぼ確実だ。しかし、急成長中のアジアやBRIC諸国では、需要の増加が続くと予測される。

「セキュリティを高めると同時に利益をもたらす」という魅力的な可能性を顧客に提示できる製品群が揃い、セキュリティ業界の健全性はさらに高まっている。世界的に商取引が低調であるにも関わらず、この業界では意外なほど多額の売上や投資が発生している。セキュリティ業界の実績が好調なのは、犯罪やテロに対する懸念が高まったことの直接的な結果ではなく、生産性の向上、運用コストの低減、投資利益率の向上といった、顧客の求める価値を実現する製品やサービスを提供しているからだ。その結果、物理セキュリティは単なるコストセクタではなく、プロフィットセクタだと認識する文化が顧客の間で少しずつ定着しており、設備投資の配分における物理セキュリティの重要性が増してきている。

メモリー社の分析によると、このルネッサンスを牽引しているのが、業界では「後発組」に属する少数の企業だ。これらの企業は機運に乗じて新しい技術を利用して、顧客の要求に応える製品を開発している。

英国セキュリティ専門コンサルタントのベンジャミン・クルーク氏も、「単なる防犯や検知といった目的だけでなく、費用対効果が高く長期にわたり活用できるセキュリティ・ソリューションを実現するため、高度な監視機器に対する要求はさらに増加する。例えば、顔認識、多数の建物からのライブ映像を外部のセキュリティ監視室に集約する機能、スマートウォータ技術などの犯罪検知手法が要求される。この技術の出現により、物理的な有人警備の必要性が徐々に低下するだろう」と指摘する。

機能の統合が鍵

数社のシステム構築会社に取材した結果、エンドユーザは統合型システムを望んでいることが確認された。入退管理システムや警報システムを購入する際に映像監視を統合すれば、投資利益率が向

上すると一般に見られている。そのため、入退管理や警報の観点から見ると、顧客の意思決定を左右するのは映像だ。例えば、多国籍企業向けソリューションの世界では、身元管理に映像監視機能を組み合わせるのが時流になっている。また、物理入退管理にネットワーク・アクセスを追加するとセールスポイントになる可能性がある。既存の警報システムでも、カメラの解像度が上がることで、システムの信頼性と安定性が高まり、誤報が減少する。

クラウドベースの技術も、顧客の投資利益率の向上に貢献する。モバイルアプリに対応した技術を使用した遠隔制御や監視機能の強化は、2014年の映像ソリューションの必須条件だ。「モバイル」の時流は、入退管理やホームモニタリングを推進する力にもなる。

改装案件で要求される技術

2014年のもう1つのテーマは改装だ。映像監視の分野では、アナログシステムからIPへのアップグレードを検討中の中小企業などにアピールするため、オープンで導入が容易な管理ソフトウェアやプリインストール済みの管理ソフトウェアを用意する企業が増えている。

市場分野によっては、改装案件でのHD-SDIの成長も期待できるが、成長の度合いは地域または市場固有の要求により様々だ。

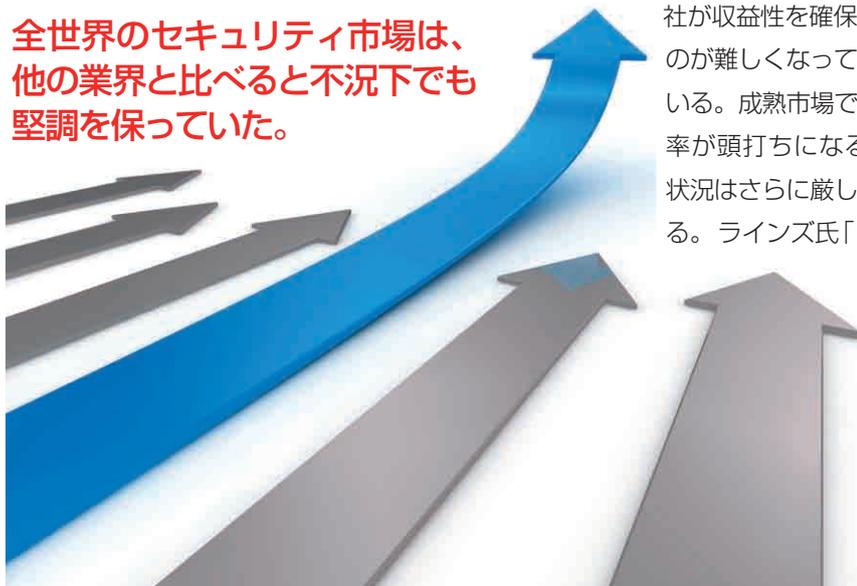
改装案件でケーブル接続が問題になる場合には、無線カメラ、電子ロック、警報検知器が選択肢として一般的になりつつある。ただし、こうした技術の安定性や導入の適性は構築会社に確かめなければならない。

立ち上がる Security-as-a Service

様々な市場分野でIPベースの製品が採用されるケースが増える一方で、エンドユーザが社内運用や保守点検の問題に直面しつつある。IPベースのセキュリティ・ソリューションに関して、顧客の技術サポートへの依存度が高まっていると多くの構築会社が指摘している。顧客の立場からすると、セキュリティ関連の頭の痛い問題を外部委託できるなら、毎月のサービス料金が増えてもかまわない。一部の大手システム構築会社では、年を追うごとに経常的な月次収益が増加している。

ジョンソン・コントロールズ社は、「Security as a Service（サービスとしてのセキュリティ）を要望するエンドユーザが増えている」と言う。ディボルド社でも同様だ。ATMソリューション・サービス供給企業として著名なディボルド社は、製品中心型からサービス中心型の企業への転身を図った。同社の2011年の収入内訳を見ると、収益に占めるサービスの割合は55%、製品は45%だ。同社のビジネスでは、銀行向け外部委託

全世界のセキュリティ市場は、他の業界と比べると不況下でも堅調を保っていた。



▲セキュリティ専門コンサルタント、ベンジャミン・クルーク氏

サービスの比重が高まっている。

電子セキュリティ、対話型のホームオートメーションとビジネスオートメーション、米国とカナダの住宅、小規模企業向け監視サービスの有力供給企業であるADTも、2013年の経常収益が4.8%増加したことを最近発表した。経常収益の増加は、顧客1人あたりの期末平均売上が3.7%増加して40.3ドルになったことも一因だ。

有望だが競争が熾烈なセキュリティ業界

エンドユーザが、購入する製品の投資利益率の最大化を求め、システム構築会社が収益性を確保するのが難しくなっている。成熟市場で成長率が頭打ちになると、状況はさらに厳しくなる。ラインズ氏「当社



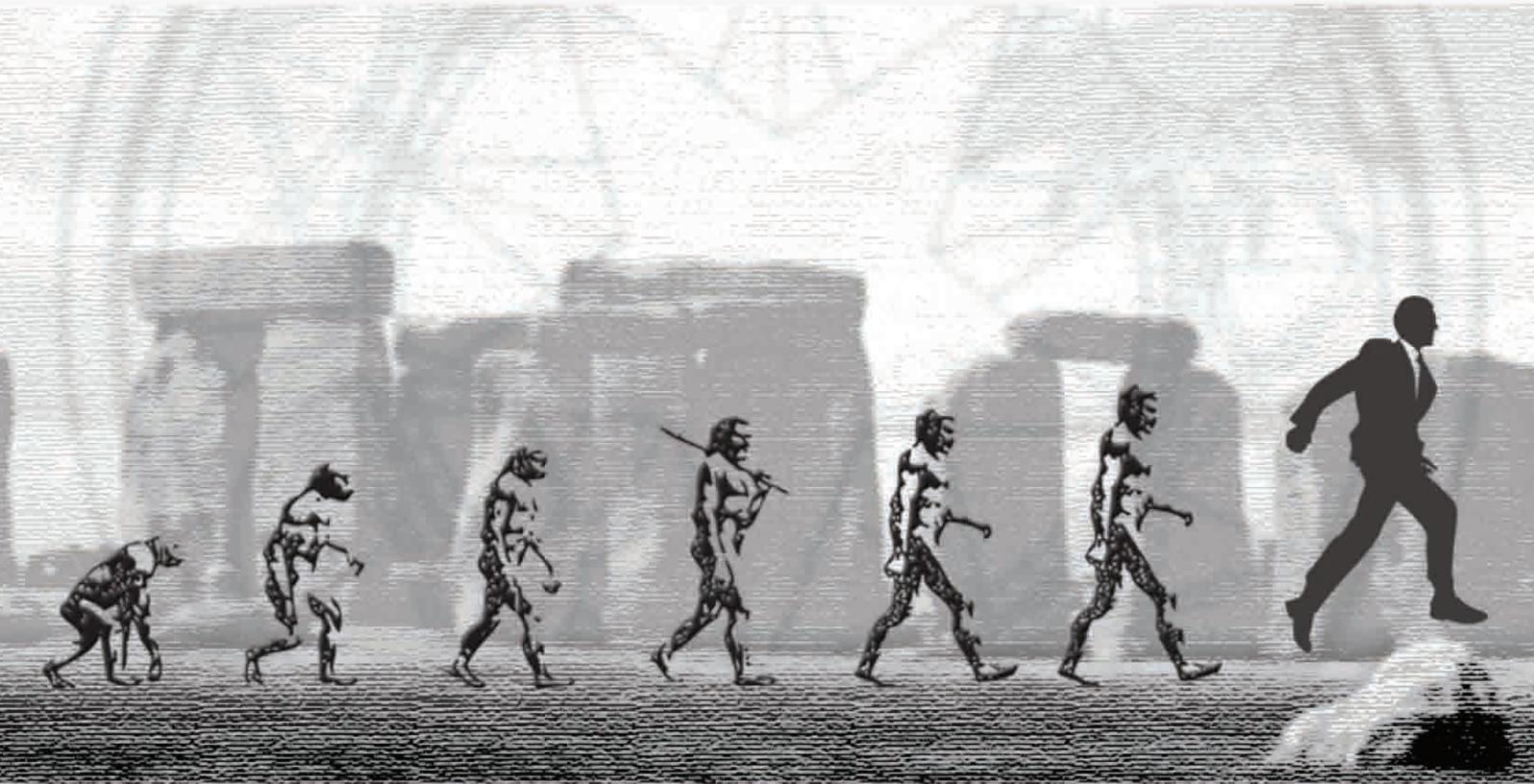
▲コントロールド社先進技術コンサルタント、マイケル・ラインズ氏

は、低いエンドユーザ・コストで優れたソリューションを提供することで、収益をいかに保つかという難題に対処している」と言う。

メモリー社の調査では、次のような状況が浮き彫りになった。「代理店チャネルを経由する製品の売上総額は、2006年には50%以上だったが、2011年には約30%にまで激減しており、再販業者、システム構築会社、ソリューション提供会社の直販に比重が移りつつある。2011年には、直販のシェアが約50%にまで増加している」。

IHSの調査では、次のような事実も判明している。「上位15社の市場占有率を合わせても20%をやや上回る程度にしかならない。残りの78%以上のシェアを、何千社もの企業が奪い合っている状況だ」。

セキュリティ業界は他の業界よりも好調だが、多くの企業がひしめき合う競争熾烈な市場だ。製品を右から左へと流すだけの代理店はもはや存在せず、付加価値再販業者の時代が到来した。この事実は、チャネルを構成する各企業の競争も激しいことを示している。メーカーが群雄割拠の状態であることは言うまでもない。どの企業も、ソリューションやサービスの別を問わず、常に顧客を念頭に置き、慎重に歩みを進める必要がある。 **ANS**



IP監視の「スマート」な進化



4種のハイビジョン社プロ仕様ネットワークカメラ・シリーズ

4種のハイビジョン社ネットワークカメラ・シリーズは、「スマート」な監視技術と、IP監視市場のニーズを応えるプロ仕様による優れた機能を満載。

進化したネットワークカメラに驚くこと、間違いありません！

下記に挙げる項目にお気づきになれます

「スマート」なコーデック

「スマート」な対象区域

「スマート」な侵入検知

「スマート」な赤外線

「スマート」な音声検知

「スマート」な映像品質検知

「スマート」な焦点

「スマート」な顔検知

「スマート」な動体検知

その他の特長：デフォグ、60フレーム/秒、120dB WDR、ABF、HLC、ヒーター、EIS、3つのストリーミング
※機種により搭載機能が異なります。



www.hikvision.com

Headquarters

No.700 Dongliu Road, Binjiang District,
Hangzhou 310052, China

Tel: +86-571-8807-5998

Email: overseasbusiness@hikvision.com

Hikvision USA

Tel: +1-909-895-0400

Email: sales@hikvisionusa.com

Hikvision India

Tel: +91-22-28469900

Email: sales@pramahikvision.com

Hikvision Europe

Tel: +31-23-5542770

Email: saleseuro@hikvision.com

Hikvision Italy

Tel: +39-0438-6902

Email: info.it@hikvision.com

Hikvision Middle East

Tel: +971-4-8847628

Email: salesme@hikvision.com

Hikvision Singapore

Tel: +65-66844718

Email: sg@hikvision.com

Hikvision Russia

Tel: +7-812-313-19-63

Email: salesru@hikvision.com

Hikvision Hong Kong

Tel: +852-2151-1761



サーマル画像と聞くと、黒の背景に白または色付きの人間のシルエットが映し出された単純な画像が思い浮かぶ。だが、この先進的な技術は非常に奥が深い。人間や物体の熱識別特性を読み取ることができるサーマル技術は、その精度と範囲の広さから、軍事部門で長年にわたり利用されてきた。セキュリティの分野では、サーマル画像を使用することにより、人間か無生物かを問わず、侵入者を正確に検知することができるため、サーマルカメラは、一定の場所のセキュリティ対策上で貴重な戦力になる。価格が高いことから、サーマル・セキュリティ市場はまだ活発な動きを見せていない。しかし、サーマル技術を応用したセンサや機器の価格が下がり始めており、サーマル・セキュリティ市場の著しい成長が期待される。

応用分野が広がる サーマル技術

サーマルカメラを使えば、様々な条件下で熱を感知できることはよく知られている。しかし、カメラの内部でサーマル技術がどのように働いているのか、なぜセキュリティ・アプリケーションに最適なのかについては、あまり知られていない。サーマルカメラの有用性をきちんと理解するための第一歩は、その仕組みを知ることにある。

サーマル・セキュリティ製品の技術とアプリケーションは絶え間なく進歩している。24時間体制の映像監視の需要が拡大しているため、様々な業種でセキュリティ用にサーマル技術の利点が注目を集めるよう

になった。残念なことに、サーマル技術の発祥地で同技術が今なお強い存在感を示す軍事以外の応用分野では、サーマル業界の発展を妨げる幾つかの要因が存在する。

サーマル業界にとって、初期費用の高さやサーマル画像は軍事専用という誤解、そしてあらゆる業種での教育不足が障壁となり、これらの障壁を乗り越えるため、懸命な努力が続けられている。幸いにも、サーマル機器の価格が下がり始めた。ボロメータ・アレイなど、熱画像処理部品のコストが低下するにつれ、サーマル機器の価格も低下し始めたのだ。熾烈な競争や需要の拡大も価格の低下に繋がり、サーマル市場は商業市場化に向かっている。

価格はさておき、サーマル画像機器がどのように役立つのか、それはなぜなのかを理解することが最も重要だ。どのような場合にサーマルカメラが必要で、一般的な監視カメラよりも有利なのかを知り、サーマル技術の仕組みを理解することが、サーマル画像の不遇時代を終わらせるための第一歩になる。



サーマルカメラの内部の仕組み

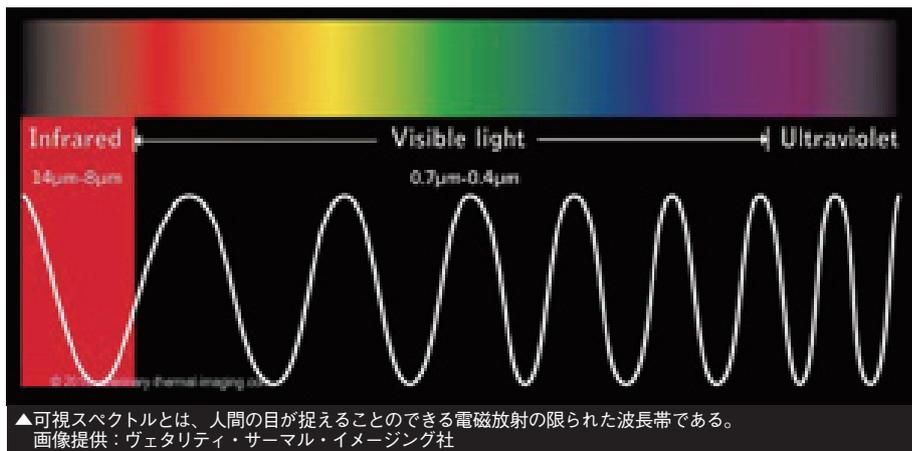
物理学で学習するように、熱を放射する全ての物体は一定量の赤外線を放射している。熱画像センサは、視界内の温度差から、この赤外線放射を検出する。生成された画像を見ると、色の違いにより温度差を簡単に見分けることができる。つまり、熱センサは温度差をリアルタイム画像に変換することができる。言い換えると、サーマルカメラで表示されるのは人間や物体の細部ではなく、温度の違いだけだ。

サーマル画像技術は、絶対零度(摂氏-273度)より温度の高い全ての物体から赤外線が放射されているという事実に基づく。これらの物体は、様々な波長の電磁波を放射している。温度が高い物体ほど、分子や原子間での熱反応が大きい。放射スペクトルと波長は、物体の性質と温度により異なる。吸収エネルギーを放射する度合いを放射率という。一般に、黒っぽい物体ほど放射率が高く、強い赤外線を放射する。反対に、色が薄い物体や反射性の物体は放射率が低く、赤外線放射が弱い。

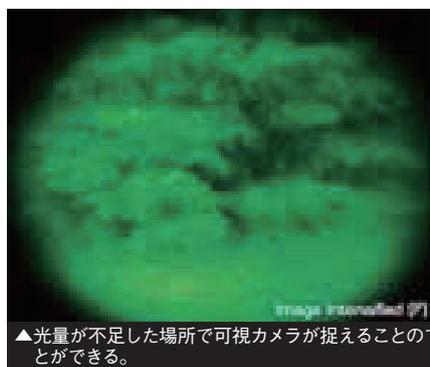
人間の目で捉えることのできる電磁放射の波長は非常に限られており、可視スペクトルと呼ばれている。人間の目に見えるのは、0.4 μm から0.7 μm まで



▲暗い夜道でサーマルカメラを使用すると、路上の障害物を見分けるのに役立つ。
画像提供: フリアーシステムズ社



▲可視スペクトルとは、人間の目が捉えることのできる電磁放射の限られた波長帯である。
画像提供: ヴェタリティ・サーマル・イメージング社



▲光量が不足した場所で可視カメラが捉えることのできない人物も、サーマルカメラであればその姿を映し出すことができる。
画像提供: フリアーシステムズ社

の波長の放射だ。0.7 μm から1 mmまでのスペクトルの放射は赤外線(IR)と呼ばれ、人間には見えない。最新のサーマル画像機器は、3 μm から5 μm の中波赤外線(MWIR)、または、8 μm から12 μm の長波赤外線(LWIR)の放射を検知することができる。人体の放射率は約9.3 μm で、LWIRイメージャのスペクトル反応の検知に最適だ。熱画像センサは物体の赤外線放射を検知し、人間の目で簡単にはっきりと見分けられる熱画像をリアルタイムで生成するので、サーマル・イメージャは、セキュリティ目的で人間の存在を検知する手段として「完璧」に近い。また、熱画像センサは非常に感度が高く、摂氏0.1度未満の温度差でも検知することができる。

視界内の物体が発している赤外線放射をサーマルカメラのIRセンサが捉えることができるように、光学部品が使

用されている。この赤外線データが標準の映像フォーマットに変換され、監視用モニタに表示されるか、記憶媒体に録画される。

サーマル・イメージャは可視光線に頼らず、熱を検知することで画像を生成する。したがって、昼夜どちらでも完全に役割を果たすことができる。しかも、光の放射や無線周波エネルギーの発生がない受動機器であるため、カメラの設置場所やユーザの存在がわからないようにすることができる。

冷却型と非冷却型

サーマル画像カメラは、使用するセンサにより冷却型と非冷却型に大別される。

冷却型の赤外線センサは、一般に室温よりやや低い温度で動作する。これらのセンサは、冷えた状態でないと自身の熱

放射を被るリスクがあり、その場合、何も見えなくなる。このように冷却が必要であるため、冷却型サーマルカメラには低温冷却機が組み込まれている。この機器は、センサの温度を極低温(摂氏 マイナス150度、華氏 マイナス238度、123ケルビン)まで下げ、熱により生じるノイズのレベルを視界内の対象物を画像化する信号のレベルよりも下げる。冷却型イメージセンサを使用するサーマルカメラは、製造コストが高く、保守点検に手間がかかり、換気が必要なのでエネルギー消費量も大きい。また、カメラの起動時に冷却のための待ち時間が生じ、使用可能な状態になるまで最大で数分を要する場合がある。冷却型のカメラは大型で高価だが、非冷却型のカメラよりも明瞭な高解像度画像が得られる。

非冷却型カメラは、冷却型カメラのような大型で高価な低温冷却機が不要だ。非冷却型サーマルカメラのセンサは、複雑でない素子を使用して温度制御を行うことにより、室温に近い温度で安定している。これらのセンサは、赤外線放射により温度が上昇しても、抵抗と電圧と電力の変化を安定化させることができる。非冷却型サーマルカメラは、動作温度範囲内の安定した温度環境で、熱により生じるノイズを低温冷却機なしで下げることができる。非冷却型サーマルカメラは、冷却型カメラと比較すると解像度と画質が劣るが、小型で経済的だ。

製造プロセスの改善により、現在ほとんどの非冷却型サーマルカメラで、CCDセンサとCMOS焦点面アレイ



▲サーマル・イメージャにWDR技術を組み込むと、より明瞭な熱画像が得られる。
画像提供: フリアーシステムズ社

(FPA) を使用できるようになった。その結果、低コストの非冷却型FPAマイクロ・ボロメータが広く採用されている。このようなカメラは、一般的に通常の可視カメラよりも解像度が低く、約160×120または320×240ピクセルだが、改良版として、17 μm (640×480ピクセルオプション)、25 μm (384×288ピクセルオプション)、ノイズ等価温度差(NETD)50 mk未満の感度のサーマル・イメージャが発表されている。

悪天候を克服

一般的な屋内や屋外環境では、適正光量が必要なため、赤外線カメラを使用しない限り、24時間体制の監視を行うのは難しい。とは言え、平均的な赤外線カメラは可視光LEDを使用し、透過率が限られているため、完全な夜間監視が保証されるわけではない。

サーマルカメラは熱放射を感知する受動機器であるため、デイ/ナイトカメラで補完すれば、完全な24時間体制の監視を実現できる。通常の低光カメラやデイ/ナイトカメラでは、波長の短い可

視光線、水滴、空中を漂う埃の粒子など、天候による悪条件により必然的に透過率が低下し、カメラの夜間視力が低下する。LWIRサーマルカメラであれば、8 μm から14 μm の波長を持つ熱放射に反応し、もやや埃、雨や雪、煙などの悪条件下でも優れた性能を発揮する。

ワイドダイナミックレンジ(WDR)技術の発達は、サーマルカメラにとって重要だ。サーマル・イメージャにWDR技術を組み込むと、夜間の車両排気、火源、熱導体の表面、日の出や日没などの影響下でも明瞭な熱画像が得られる。このようにWDRは、解像度の向上に役立ち、夜間の侵入者の検知と識別を可能にする。

サーマル技術の導入を検討する際には、もたらされるプラスの効果を考えると良い。価格が高いとはいえ、様々な分野でサーマルカメラがもたらす長期的なメリットは、高い初期費用を補って余りある。天候や暗闇といった悪条件をもととせず、昼夜を問わず撮影が可能なサーマルカメラは、セキュリティ、監視業界だけでなく、他の業界にも著しいメリットをもたらす可能性があり、価格の低下とともに普及が進むことが期待される。

AKS

“ 熾烈な競争や需要の拡大も価格の低下につながり、サーマル市場は商業市場化に向かっている。 ”

最も簡単に セキュリティの世界を知るには・・・

各国版の雑誌をご用意しました。

- 詳しく中立的な市場情報を提供します。
- 最新技術を解説および紹介します。
- 案件およびソリューション設計を指南します。



さらに詳しい情報は、下記にメールをお送りいただくか、下記 URL にアクセスしてください。
E-Mail : intl@newerafrankfurt.com URL : www.mfnewera.com

a&s海外雑誌 年間購読申込書

申込日 20 年 月 日

<input type="checkbox"/>	a&s INTERNATIONAL	(月刊)	9,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s ASIA	(月刊)	9,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s CHINA(簡体字)	(月刊)	9,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s INSTALLER(簡体字)	(月刊)	9,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s SOLUTION(簡体字)	(3の月季刊)	4,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s TAIWAN(繁体字)	(隔月刊)	6,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s TURKEY	(隔月刊)	6,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s ADRIA	(月刊)	9,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s ITALY	(隔月刊)	6,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s INDIA	(月刊)	9,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読
<input type="checkbox"/>	a&s VIETNAM	(3の月季刊)	4,000円	20	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月号より1年間購読

送 付 先	住所1:	
	住所2:	
	貴社名:	
	部署名:	
	電話:	FAX:
	役職名:	
	ご氏名:	
	E-MAIL:	

振 込 先	ゆうちょ銀行からの振込の場合
	口座記号: 10180 口座番号: 3723281 口座名: エーエスジャー (ド) ※ATM表記は、「エーエスジャー (ド)」となります。
	他の金融機関からの振込の場合
	ゆうちょ銀行 店名: 〇一八 (読み ゼロイチハチ) 普通預金 口座番号: 0372328
	ASJ 合同会社 (エーエスジャー ゴウドウガイシャ) ※ATM表記は、「エーエスジャー (ド)」となります。
※振込手数料は、貴社にてご負担いただきますようお願い申し上げます。	
※発送は、入金確認とさせていただきます。	
※送付先は、日本国内に限定させていただきます。	

FAX番号 03-6206-0452

ASJ社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-7-1 ウィン神田ビル10F 電話 03-6206-0448

IoTと物流の統合により実現する インテリジェント輸送

モノのインターネット(Internet of Things: IoT)は、物流の能率化の重要な要因だ。IoTは、効率やセキュリティを高め、貨物や商品を安全確実に配送するためのツールとして利用することができる。



RFIDとGPS

ここ数年、貨物や輸送手段にRFIDタグやGPSロケータを導入する物流企業が増えている。配送の進捗状況をより正確に追跡するとともに、積荷の状態をより細かく監視するのが目的だ。

モトローラ・ソリューションズ社アジア太平洋地域ソリューション営業部門主任ソリューションアーキテクトのジツール・チャナ氏は、「コンテナ輸送は国際貿易において重要な役割を果たしている。国際貿易物の約90%は貨物専用コンテナを使用して輸送している。海上貨物や航空貨物に手作業で施される封印では、輸送の完全性を保証することは不可能だ。しかし今日、無線周波機器を使用して作られたスマート・コンテナシールを利用すれば、堅牢な機械部品と高度なセンサの組み合わせにより、極めて確実に貨物を守ることができる。電子シールは、コンテナに関する情報を税関や港に設置された読取装置に送信し、不正な開封や破損があった場合には警告を発生してエラー状態を知らせる。このようなコンテナ電子シールには、有害な化学物質や温度、照度、振動、衝撃、気圧など、様々な物理的パラメータを検知する機能を搭載することができる」と語る。

「世界のサプライチェーンはこの10年間、前例のない複雑化の道をたどった。

航空や陸上、鉄道や海上による輸送などで貨物や商品を本来の目的地まで届けること、それが運輸の役割だ。輸送中の貨物は、警備の行き届いた倉庫に保管されている時とは異なり、思いもよらない気象条件や自然災害に見舞われる懸念が大きいだけでなく、貨物を持ち去る機会を虎視眈々と狙う窃盗犯もいて、安全を保つのが難しい。チャブ・グループ・オブ・インシュアランスカンパニーズがまとめた統計によると、盗難が特に多く発生している貨物は、家庭用電化

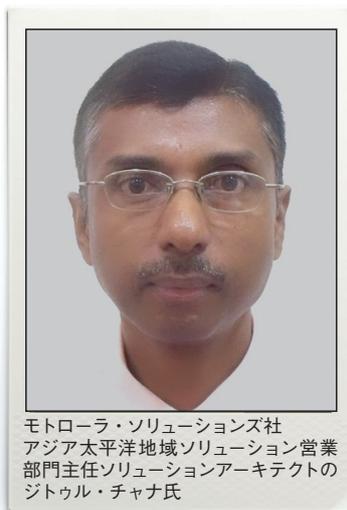
製品、食品、衣料の3つで、週末に貨物が盗まれる確率が高い。同統計によると、窃盗犯に最も狙われやすい場所はトラックの駐車場と休憩区域で、盗難事件の3分の1以上がこれらの場所で発生している。次いで、荷捌場、モーターや食堂の駐車場など、中間地点にある警備の手薄な場所も狙われやすい。米国の場合、貨物の窃盗による損害額は月当たり約10億ドルと推定されている。現在、輸送中のセキュリティ・リスクへの警戒が高まりつつある。

かつてないほど多くの場所から、かつてないほど多くの商品が運ばれている。複雑さが増すにつれ、消費者の安全を守るため、食品や薬剤の取り扱いに関して各国が定める法規制も同様に複雑化している。供給各社は、輸送ルートで生じるコストやリスクのほか、接点、気温の問題も考慮して、様々な輸送ルート进行评估するようになった。特化型のRFID監視機器は、腐敗しやすい各種商品の輸送と取り扱いに革命的な変化をもたらしつつある。これらの機器を輸送車両に取り付けて道中の環境を監視することができる。また、個々の梱包に取り付けて環境状態を感知したり、追尾・追跡機能を実現したりすることもできる。RFIDタグのデータの読み書きができれば、有効期限の早いものから順番に倉庫から出荷するのも簡単だ」とチャナ氏は語る。

IoT

モノのインターネット (Internet of Things: IoT) とは、インターネット接続を利用した機械同士の通信を表す新語だ。医療や小売などの業種では、既にIoTソリューションを採用している。このネットワーク・インフラを利用すれば、物流工程管理もはるかに効率化できる可能性がある。

積荷に取り付けるアクティブ・センサのほとんどが、RFIDまたはNFC技術を使用している。このセンサは、物資の動きと、それに同期した情報をリアルタイムで送信するため、運送業者は特定の貨



物についての情報をいつでも瞬時に入手することができる。技術の進歩に伴い、スマート郵便ポスト、空輸用パレット、木製パレットが、様々なネットワークと通信し、現在位置を知らせたり、衝突を回避したり、周囲の環境について報告したりすることができる。このようなセンサと、リアルタイム位置情報システム (Real-time Locating Systems: RTLS) やGPSトラッキング・システムなどの情報リレータグの助けを借りて、物体同士が対話し、インターネットを通じて情報をリアルタイムで拡散することができる。運送業者は、生成されたデータの分析に基づいて適切な判断を下す。ほとんどの場合、こうした判断は、予め設定したルールに基づいて行われる。

インテリジェントな輸送

この技術を利用すると、指令センサの発送係が運転手に道順を示し、運転手の

行動や商品をリアルタイムで監視しながら、脇道にそれた車両や長時間にわたりアイドリング状態になった車両を検知することができる。「車両のモバイルコンピュータに搭載されたテレマティクス機能を使用して、エンジンの動作を自動的に監視し、情報を収集する。配送係はこのデータから、一人一人の運転の癖や車両の状態を把握する。エンジンの不具合を示すコードが表示された場合には、予防的なメンテナンスを行い、運転手の生産性や車両の稼働率を維持することができる。エンジンの回転数が過剰に高いことが判明した場合には、燃費を悪化させるだけでなく、エンジンを損耗させるような非効率的な運転がなされていることがわかる。車載のモバイルコンピュータへのアナログ入力がサポートされていれば、冷凍貨物の温度や冷却ユニットの燃料レベルを追跡記録することができ、冷凍食品のサプライチェーンの安全性が高まる。つまり、運転手がまったく手間をかけることなく、輸送中の積荷を適正な温度レベルに保つことができる」とチャナ氏は言う。

特別な注意が必要な商品を、IoTを利用して効率よく監視することもできる。生鮮食品は必ず冷蔵コンテナで輸送し、最適な状態に保たなければならない。コンテナには、温度と湿度レベルを監視するセンサが取り付けられている。温度や湿度が許容範囲を上回るか下回った場合には、配送係に警報が送信され、配送係はトラック運転手に通知し、問題に対処するよう指示することができる。積荷に取り付けられた電子シールも、何者かが積荷を不正に開封しようとするや警報を送信する。

長距離の陸送、空輸、海上輸送を利用して商品を配送する大手国際運輸企業に

“

モノのインターネットとは、インターネット接続を利用した機械同士の通信を表す新語である。

”

とり、このようなインテリジェント・センサ技術は輸送物資を追跡するのに理想的だ。また、高級品や最先端の家庭用電化製品や医薬品を輸送する場合にも、商品の現在位置や推定到着時刻を常に把握し、危険にさらされていないかを確認する上で、インテリジェント・センサが果たす役割はきわめて大きい。

各種のセンサがお互いに情報を伝達したり、指令センタに応答したりするには、高速で安定したインターネット接続が必要不可欠だ。現在、4G/LTE技術が世界的に普及しつつあり、送り主と運送業者間の通信が向上し、輸送中の貨物や商品のセキュリティがさらに強化されている。「4G/LTEが出現し、ストリーミング映像アプリケーションの品質が大幅に向上しただけでなく、IPSec準拠のVPNやGREトンネリングなど、アプリケーションに組み込まれたセキュリティ機能により、データへの不正アクセスを確実に防止できるようになっている」とチャナ氏は説明する。

貴重品の輸送のための有人セキュリティ

必要なセキュリティのレベルは、輸送する貨物の種類により異なる。ダイヤモンドや貴金属、美術品などの貴重品を輸送するには、非常に高度なセキュリティが要求される。このような場合には、装甲車を使うのが一般的だ。「当社のトラックは全て、GPSトラッキング・システムと監視機能に加えて、3G無線接続機能を備えている。商品の価値に応じて、より多層的なセキュリティ対策が講じられる。例えば、トラックに伴走車を付けたり、管理職レベルのスタッフが監視のために全行程に同行したりする場合がある。運転手、クルー管理者、武装ガードマンの最低3人が1台のトラックに乗り込む。運転手は命令に従って運転に専念し、片時も運転席を離れることはない。荷物の積み降ろしは他のスタッフが担当する。貨物の種類によっては、最大で5、6人が乗り込む場合がある」とマルカアミット・セキュア・ロジスティック社統括責任者イド・トマシス氏は語る。

「特に運転手については、厳密な採用プログラムを用意している。何回もの社内研修、セキュリティ研修、銃器の取り扱い訓練を受けなければならない。取得した銃のライセンスは、警察の厳密な監視の下、更新や登録などが行われている」。

iPhoneのような人気のある電子製品については、アップル社の毎年の発表時期を見込んで、非常に統制された一連の輸送計画が実行される。ブルームバーグの掲載記事によると、この工程は中国から始まる。工場でiPhoneを積み込んだパレットが、セキュリティの詳細情報とともに、無印のコンテナに移される。コンテナはトラックに積載され、事前に購入済みの空輸スペースに入れられ、豪州、中国、チェコ共和国、日本、シンガポール、英国、米国など、世界各地の配送センタに輸送される。内部情報によると、最終的に製品が秘密のベールを脱ぐまで、トラック基地、空港、税関、保管倉庫など、全行程のあらゆる段階で保安要員が警戒にあたっている。

最後に

従来の物流では、貨物を安全に運ぶためのセキュリティ対策が限られていたため、輸送段階が最大の弱点だった。IoTの基本理念を利用し、送り主と運送業者間の通信にセンサを採用することで、商品の状態や現在位置だけでなく、運転手の行動、商品を載せた車両の状態にいたるまで、貨物や運転手をきめ細かく管理することができる。輸送物流管理で貨物のセキュリティを強化すると同時に、配送係が「全体像」を把握するのに役立つIoTの存在感が高まっている。

A&S



▲貴重品を輸送するトラックには武装ガードマンと管理職レベルのスタッフが同乗する場合がある。
写真提供: マルカアミット・セキュア・ロジスティック社

ネットワークカメラ録画ソフトウェア

KxViewPro Ver2.2

ネットワークカメラの画像を複数(最大32台)同時録画・再生するソフトウェアです。
マルチベンダー対応で用途に応じて、カメラ選択が可能で、16社250台以上のカメラがご利用頂けます。

■操作方法

分かりやすいインターフェイスで、カメラの選択・拡大縮小などもリモコン操作のようにワンタッチで行えます。



■分割画面

多多彩な分割画面とシーケンシャル機能を搭載しており、運用に即した表示が可能です。

(1/2/4/6/5+1/9/8+2/12/16/20/24/30/64分割に対応)



■その他の機能

MAP機能、DIOモジュール連動機能、モーション検知連動機能、ユーザー権限機能、予備ドライブ機能、カメラ縦横比固定機能、JPEG録画データモーション解析機能など多彩な機能を搭載しております。

■サーバ管理

お客様自身で管理していただけます。
ご不明な点は当社で電話対応させていただきます。

■ラインナップ

KxViewPro9 : 9台録画、24台ライブ登録
KxViewPro16 : 16台録画、160台ライブ登録
KxViewPro32 : 32台録画、320台ライブ登録

クラウド録画の決定版

かんたん操作、らくらく録画、あんしん価格

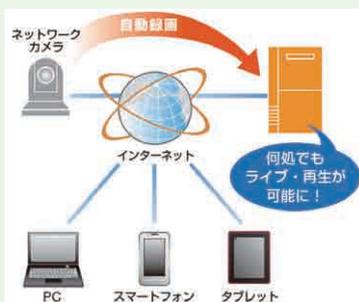
さば録

ネットワークカメラの映像を当社の専用サーバに録画・保存し、遠隔からインターネットブラウザを利用して、閲覧・録画再生するクラウドサービスです。

設定は全て当社で行いますので、録画に際しての面倒な設定は不要です。

AXIS製カメラ、Panasonic製DG、BB-Sシリーズのカメラがご利用いただけます。

■システム構成図・操作画面



■操作方法

さば録は誰でもお使いいただけるよう、「録画再生」「ライブ画像(単画面閲覧)」「ライブ分割(分割画面閲覧)」のシンプル設計です。

直観的なインターフェイスでライブ画面では、カメラ選択のほか、カメラのパン・チルト・ズーム・プリセットコントロールが可能です。



■分割画面

タブレットやスマートフォンなどからの閲覧も考慮し、シンプルな単画面/4分割/9分割の表示が可能です。分割画面の登録は複数設定が可能です。



■サーバ管理

当社で管理を行いますので、ディスク交換といった管理は不要です。

■カメラ録画台数

カメラ1台~100台

■費用

初期費用¥35,000-から
月額費用¥2,000-から



株式会社ネットカムシステムズ

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-10-3 プライム秋葉原ビル7階
電話:03-5207-8591 FAX:03-5207-8592 <http://netcam.co.jp/>

SECURITY SHOW

小間番号:SS3211 2014年3月4日(火)~7日(金) 東京ビッグサイト

よくわかるIPネットワーク

株式会社ジャパテル 代表取締役 佐々木宏至

SECURITY SHOW 2014

弊社が毎年3月に開催されるこの展示会に関わって10年。本号を読んだ方の中には初めて本誌に触れた方も多いかと思う。弊社が初めて出展した当時はそのほとんどがアナログ製品だった、そのような中で、IP専業でSECURITY SHOWに挑んでいた数少ない会社が弊社だった。

また、昨年そして今年の出展社の傾向を見ると、IPソリューションがほとんど全てに浸透している。まさしく、時代はIPに移行したと言えるのではないだろうか。

2014年出展社の抜粋(敬称略)

下記の情報は、SECURITY SHOW 2014のウェブ(<https://messe.nikkei.co.jp/ss/exhibitor/>)から主要出展製品別にピックアップした。なお、複数の製品分類に該当する出展社については、ウェブ上に掲載している上位項目を優先した。

【IPソリューション】

R.O.D、AVIGILON、アベックス(Milestone Systems)、カシオテクノ、国際産業技術、兼松日産農林(SAMSUNG)、サンシステムサプライ(exacqVision)、GENETEC、住友電気工業、セキュリティデザイン、ティービーアイ(SAMSUNG)、日本テクノ・ラボ(VMS)、ネットカムシステムズ(VMS)、ネットキュリー、ビデオテクニカ。

【IPカメラ】

アクシスコミュニケーションズ、キヤノンマーケティングジャパン、JVCケンウッド、ソニービジネスソリューション、ソリッド、パナソニックグループ、日立国際電気、フリーアシステムズジャパン、三菱電機。

【HD-SDI & IP & アナログ】

アイ・ディ・ケイ、エヴァーフォーカスジャパン、ASK TRADING、エスシー、NSS、OIC KOREA、佳来興産、キャトルプラン、クリテム、ケイグランデ、ケービデバイス、ケルク電子システム、ジーネット、スリーディー/VIDEOTEC、TIBET SYSTEM、TVLOGIC、TOA、テスコムジャパン、店舗プランニング、NADATEL、日本防犯システム、HIGH VISION TECH、4NSYS、朋栄、ミカミ、ユニモテクノロ

ジー、ユビテック、ワテック。

【アクセスコントロール、認証、他】

IRIENCE、アズビル、アマノ、NECグループ、岡村製作所、共栄工業、クマヒラ、計電産業、シーズンテック、SEOHAN INFORMATION & COMMUNICATION、セキュア、WFE TECHNOLOGY、ディー・ディー・エス、日本信号、日本電通、日本カバ、日本電子工業、ネエチア、富士電機、ポニソフト、美和ロック、ヨネイ。

【その他、レンズ、IP】

アイホン、サン電子、アライドテレシス、ケンコー・トキナー、CBC、スペース、タムロン、日本電業工作、ハイテクインター、日立金属、富士フイルム、山野光学、ユニオンコミュニティ、リズム時計工業、レッツコーポレーション。

数少ないVMS専業企業の出展

私見ではあるが、残念なことはVMS専業が驚くほど少ないことだ。海外の専業メーカーで直接出展しているのはGenetec社1社だけとなっている。AVIGILON社はカメラも手がけているが、VMSとしての評価の定まった企業である。代理店としては弊社(Genetec)、サンシステムサプライ(exacqVision)、アベックス(Milestone)と言ったところだ。

率直に言うと、国内VMS企業は専業と言うには様々な点から物足りなさがあるというのが正直な個人的な感想だ。なぜなら10年前から進化していない。httpベースのJpeg対応がほとんどで、ONVIFの実装が未だに実現していないのが現状である。

何はともあれ、今一度VMSの注目度が上がってもらいたいものだ。

VMS最大のアドバンテージ

最後に、ここでVMSの優位性についてまとめてみる。

- 1) 高度なワークフローメカニズムを標準提供している
- 2) 投資の継続性保証はオープンソフトウェアにしかできない。ソフトウェア(ライセンス)はお客様の資産となる
- 3) 増設要求に対してシームレス、ローコストで対応可能
- 4) 画像解析プラグインや入退室管理との連携などが充実
- 5) 他システムとの連携運用の提供と柔軟性

VMSは、上記以外にも多様で高度な機能を提供している。そしてこれはVMS専業のソフトウェアにしか実現することができない。

連載ソリューションコミック



リモートメンテナンス
どこカメ®を活用したリモートメンテナンスのイメージです。
映像と音声を融合し定額でご利用いただけるメリットはあらゆる業種にご活用いただけます。

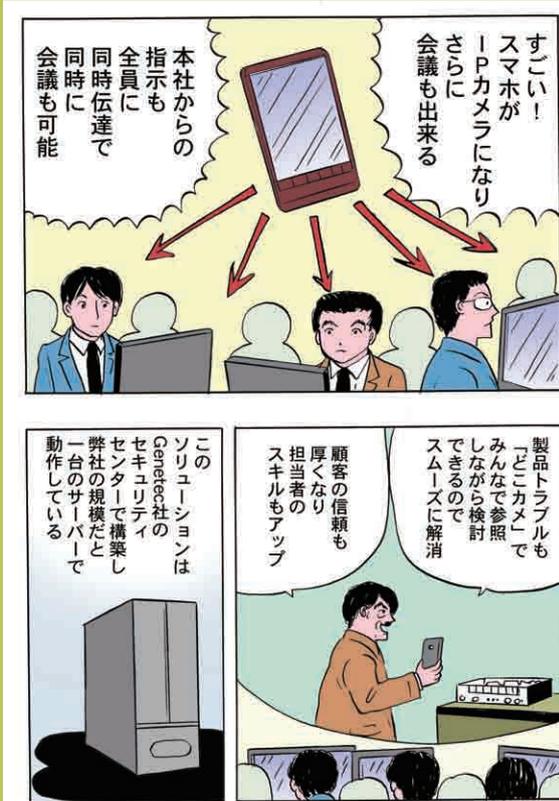
接客管理
無線インターカムでも同様の事は可能です。しかし、業態によっては過大投資。
監視カメラと統合できる、どこカメ®ならスマートフォンで驚くほど低コストで導入可能です



HIKVISION
Smart-Tracking
自動追尾 標準装備
解像度 1.3M/2M
光学倍率 20倍 / 30倍



HIKVISION
NVR/HD-SDI-DVR/Hybrid-DVR/DVR
256レコーダ-1024カメラまで完全統合
スマホ完全対応 録画再生 / ライブ
さらに音声も完全サポート



Genetec社Security Center mobileでご利用いただけます。詳しくは <http://www.javatel.co.jp> で。

Copyright © 2014 Javatel inc.
無断転載厳禁 ドコカメ®
制作 神田 森莉

最強のプロフィットツール

- ・ スマホを最大限活用できるどこカメ®は企業様のワークフローを徹底して効率化し利益を生み出します。
- ・ ITによる生産性向上が一向に進まない最大の理由はITの為にITをしている状況が原因です。
- ・ 書誌で話題になっていますが、社内CCメールを禁止にした会社もあります。
- ・ どこカメ®は究極のITをプラットフォームにモビリティを追求した

映像音声の双方向コミュニケーションツールです。

システムの構築例

- ・ 全従業員 50人のiPhone AndroidにGSCモバイルクライアントをインストール
- ・ サーバー 一台を本部またはデータセンターに設置
- ・ 管理用PCは各支店既設のPC 25台にGSCクライアントをインストール
- ・ ライセンスはGenetec Security Center

Enterpriseパッケージ カメラライセンス50 クライアントライセンスは無制限パッケージ

- ・ 概算コスト 300万円 サーバー他構築費用に60万
- ・ 総額360万程度で全員が映像、音声をリアル配信し、それをシェアして仕事が進められます。配信した映像は自動的に録画され、再利用が可能です。音声は別途オプションでシェアチャンネルを設定し映像と共に録音可能です。



HIKVISION
Smart-Tracking
自動追尾 標準装備
解像度 1.3M/2M
光学倍率 20倍 /30倍



Genetec 社 Security Center

世界最高レベルのVMSワークフロー **OMNICAST**
HID マーキュリー AXIS をサポートする入退管理 **SYNERGIS**
自動車ナンバープレート読取 **AUTOVU**



全世界にまたがる、IPカメラ映像の統合を提供します。録画配信サーバーは分散設置して数百台、数千台、数万台まで統合可能です。さらに、監視カメラのみならず、各種デジタル表示機器(HDMI/DVI/VGA/HD-SDI/Displayport)の映像も取り込んで配信録画可能です。そして、モバイルソリューション どこカメ®ではiPhone/Androidで映像を見る、さらに監視カメラとして利用できます。さらに、アクセスコントロール(入退管理)も完全統合できる、エンタープライズニーズにフィットとしたシステムです。あらゆるビジネスをアシストするお手伝いをいたします。何なりとご相談ください。

SECURITY SHOW

2014年3月4日(火)～7日(金)

東京ビッグサイト

出展いたします。小間番号:SS3215

サンシステムサプライ社と共同出展です。

株式会社ジャバテル

www.javatel.co.jp

専門サイト nvr.jp ipcam.tv

本社 〒530-0041 大阪市北区天神橋 2-北 1-21 八千代ビル東館 3F
TEL 06-6354-0100 FAX 06-6136-1155
支店 〒130-0011 東京都墨田区石原 1-41-4 TKビル 3F
TEL 03-6658-8726 FAX 03-5637-7834

Javatel

Video Intelligence

2014年のSMhomeビジネスで成功するために知っておくべき10のニュース

■ASMAG.COM編集部

QRコードを読み取ると詳細情報（英文）を読むことができます。

2019年までに50億台の出荷が予測される無線センシングIoT機器一鍵を握るのはスマートホームとスマートビルディング

オンワード社の予測によると、2019年には無線センサや制御機器の大部分がインターネットに接続するようになり、これらの機器の2010年から2019年までの累積出荷台数は全世界で50億台に達する見通しだ。無線IoT(Internet of Things)の主要市場の中でも、特に注目に値するのはスマートホームとスマートビルディングだ。スマートホームに対応するクラウド・プラットフォーム提供会社とホームサービス提供会社との間の競争激化に伴い、新規参入企業や画期的な技術が相次いで出現している。低コストで拡張性に優れたインターネット接続プラットフォームを提供するアレイメント社、急成長中のDIY市場を対象にするスマートシング社、レヴォルヴ社、コネクセセンス社、ネタトモ社など、新興企業が目白押しだ。また、UPnP+Initiative、さらにはABB社、ボッシュ社、シスコ社、LG社が最近設立したコンソーシアムなど、スマートホームのデータ交換のオープン規格を策定する業界団体も設立されている。



ABB社、ボッシュ社、シスコ社、LG社：スマートホーム用のオープンソフトウェア

ABB社、ボッシュ社、シスコ社、LG社の4社が、スマートホーム用のソフトウェア・プラットフォームを提供する目的で、コンソーシアムの設立を目指している。4社は既に同趣旨で覚書を取り交わした。この計画は反トラスト当局の承認を受ける見通しだ。



AllSeen Alliance の設立により、“Internet of Everything” が加速

Linux Foundation は、家庭と産業における“Internet of Everything”の普及と技術革新の推進を目指し、AllSeen Alliance の設立を発表した。これは、現時点で最大規模の産業横断型のコンソーシアムで、ハイアール社、LG エレクトロニクス社、パナソニック社、クアルコム社、シャープ社、シリコン・イメージ社、TPリンク社などの有力企業が牽引役になっている。コミュニティのメンバーには、キャナリ社、シスコ社、Dリンク社、ダブル・ツウィスト社、フォン・ハーマン社、HTC社、レトヴ社、リフックス社、ライト・オン社、モクストリーム社、ムザイク社、シアーズ・ブランドマネジメント・コーポレーション社、スプルートリング社、スプロスティ・ネットワーク社、ウィーブド・ワイロシティ社などが名を連ねている。



アイコントロール・ネットワークス社、オープンホーム・パートナー・プログラムを発表

アイコントロール・ネットワークス社は、機器メーカー向けのオープンホーム・パートナー・プログラムを発表した。アプリケーション開発企業を対象とした既存のプログラムと同様に、この拡張版プログラムでは、機器メーカーが、コムキャスト社のXfinity Home、タイム・ワーナー・ケーブル社のインテリジェントホームやロジャース・スマートホーム・モニタリングなどを実現するアイコントロール・プラットフォーム・ソリューションとの互換性の認定を簡単に、複数同時に取得することができる。認定機器は、セルフモニタリングやホームオートメーション、警備会社が監視するホームセキュリティシステムなど、あらゆる種類のコネクテッドホームソリューションとの相互運用が可能だ。まず、ジグビーとの相互運用性を確保し、その後その他のプロトコルや機器もサポートする計画だ。



ハネウェル社、ホームオートメーション・ソフトウェア開発企業向けのクラウドAPIプログラムを発表

ハネウェル社は、カラーのカスタマイズが可能なWi-Fiスマートサーモスタットなど数機種のハネウェル社製Wi-Fiサーモスタットと接続可能なソフトウェアの構築を可能にする開発パートナー向けAPIプログラムを発表した。同社は、このAPIの提供に関して、まずアクアコム社、オボワ社、コントロールフォ社、ルトロン社とパートナー契約を締結する。開発パートナー各社は、この新しいAPIを利用して、ハネウェル社のWi-Fiサーモスタットと統合した付加価値サービスやカスタム・アプリケーションを提供することができる。



AT&T社、デジタル・ライフを投入する市場を拡大

AT&T社は今春、同社の最新のホームオートメーション・セキュリティ製品デジタル・ライフを投入する市場を8から15に増やすと発表した。AT&T社は同製品を米国内の新たな市場に投入し続ける予定で、最終的には50の市場への投入を計画している。



スマートホームにより生じるホームセキュリティの新たな弱点

統合型サイバ犯罪対策ソリューションの提供会社であるスリートメトリクス社は、企業と消費者に降りかかるサイバ犯罪の脅威に関する予測を発表した。最終的に、あらゆる電化製品や機械などの操作がIoTによりインターネットに接続されるようになる。まだ普及の初期段階ではあるが、スマート冷蔵庫、スマート・ロック、スマート・サーモスタットについては、来年早々にも本格化が見込まれている。IoTによりインターネットに接続されると、オンライン上のあらゆる活動と同様に、サイバ犯罪の危険にさらされることになり、個人情報の盗難やリソースの損害が懸念される。



プラットフォームの急増によって高まる消費者の関心

パークス協会が最近実施した調査によると、コネクテッドホームの機能として消費者が強く希望しているのは、従来からの安全、セキュリティ機能を利用できることである。煙、ガス、水漏れの検知器など既存のセキュリティ機能が、リアルタイムのモバイル通知機能によって強化される。今回の調査では、電気の使用状況を監視し、節電のために機器を自動的に調整するエネルギー管理機能は、セキュリティ機能よりもランクが低かった。



ホームオートメーションの新興各社、2012年以来4億6,800万米ドルを調達

調査企業グループであるCBインサイト社によると、ホームオートメーションのスタートアップ企業は2012年以来、56回の資金調達で4億6,800万ドルを調達している。多くの企業がシリーズAの資金を調達したばかりであるにも関わらず、資金総額が跳ね上がったのは、少数のスタートアップ企業が多額の資金調達に成功しているからだ。

ホームオートメーション分野に関心があるのは、製造、通信、技術企業だけではないようだ。ベンチャ投資や未公開株式投資会社も、コネクテッドホームの将来性に積極的に賭ける姿勢を見せている。

CBインサイト社のWebサイトに掲載されたグラフによると、ホームオートメーション市場に投じられたベンチャ投資資金は2010年には数100万ドル程度だったが、2013年11月の時点で総計約9億ドルに達しており、その半分がわずか2年で調達されている。



メイカース&メイカース社: 2020年のスマートホーム市場予測

2020年、南北米大陸の市場規模は224億米ドル

南北米大陸のスマートホーム市場は、2020年には224億米ドルの規模に達すると予測され、年複利成長率は17.6%と推定される。南北米大陸市場で最大のシェアを獲得するのはセキュリティ・サービスと予測されるが、予測対象期間中に年複利成長率が最も高くなるのは照明制御だろう。関連サービスには、設置、保守点検、改装、カスタマイズが含まれる。この地域分析の対象国は米国とカナダ、ブラジルとアルゼンチン。

2020年、欧州の市場規模は138億米ドル

欧州のスマートホーム市場は、2020年には138億米ドルの規模に達すると予測され、年複利成長率は18.2%と推定される。欧州のスマートホーム市場の拡大を促進する主な要因は、エネルギーとコストの節約、炭素排出量の削減、人口の高齢化、セキュリティと利便性、行政計画などである。予測対象期間全体にわたり、英国が引き続き欧州のスマートホーム市場を牽引するが、その原因としては、英国におけるスマートホームの高い普及率と継続的な発展が挙げられる。

2020年、アジア太平洋地域の市場規模は93億米ドル

アジア太平洋地域のスマートホーム市場は、2020年には92億8,000万米ドルの規模に達すると予測され、年複利成長率は16.7%と推定される。アジア太平洋地域のスマートホーム市場の拡大を促進する主な要因は、省エネルギーとエネルギー管理、アジア太平洋諸国の人口の高齢化、安全そして快適で利便性の高いライフスタイル、行政計画など様々である。



スマートホーム専門家向けの新しいデジタルメディア
mysMAhome.com



Security, Monitoring and Automation Solutions for home

a&s誌とasmag.comでお届けします

SMHomeとは?

- ホームセキュリティに関する最新ニュースや製品そしてキーマンを紹介します。
- 警報表示機器業者や通信技術者、ケーブルTV企業やホーム・オートメーション機器販売業者に、OEM/ODM企業をご紹介します。
- PCやタブレット端末そしてスマートフォンからご覧になれます。



さあ、今すぐご覧ください!
mysMAhome.com



a&s = Total Reading & Sourcing Experience

ソニービジネスソリューションとEMCジャパン、ビデオ監視ソリューションセミナーを開催

2020年の東京五輪開催を契機に、映像監視システムに対する期待と要望が高まってきている。新規システムの導入および既存システムの更新さらに統合化など、映像監視システム市場は、2014年から様々なソリューションの展開が繰り返されるのが予想されている。これに伴い、取り扱う映像情報量と先端機器としてのネットワークカメラ台数の急激な増加もまた予想されている。



このような状況を踏まえて、ネットワークカメラのソニーとストレージシステムのEMCジャパンの両社は、ビデオ監視ソリューションセミナーを開催した。開催は2014年1月16日と17日の2日間にわたり東京品川ソニー本社ビルで開催され、16日はマイルストーン・システムズ社XProtect、17日はジェンテック社Omnicast & Security Centerという国際ブランドの映像監視ソフトウェアを交えたソリューションを紹介した。

【市場動向と製品紹介】

冒頭、ソニービジネスソリューション社野村幸司氏は、ネットワーク監視市場動向について、ネットワークカメラ映像がこれまでの映像資産から情報資産に変貌を遂げるとの予測を披露した、そして、3つのキーワードとして、高画質、画像

解析、クラウドサービスを挙げた。高画質には高画素化(4K)、高感度化、WDR機能、ブレ補正があり、画像解析には動体検知、不動態検知、顔認証、ナンバープレート認証、行動認証があり、クラウドサービスにはストレージサービス、解析サービス、ゲートウェイサービス、ビッグデータ解析、コンテンツサービスがあると説明した。

そして、ソニーの製品戦略について、2014年には上述の市場動向に呼応した製品を市場に提供する方針を明らかにした。

【EMC Isilon】

引き続き、図研ネットウェイブの田村優次氏が、ビデオ監視に最適な高信頼性スケールアウトNASとしてEMC Isilonを紹介した。同氏は大量映像データを取り扱うソリューションにEMC Isilonを推奨する理由として、強固なデータ保護の堅牢性、無停止・リポート不要の拡張性、大量データを簡単管理できる効率性を列挙した。

強固なデータ保護の堅牢性としては、データ保護性が高く、ハードウェアが複数壊れても監視映像を保存し続けることを挙げた。無停止・リポート不要の拡張性については、システムを停止せずにディスク容量を簡単に追加できること、システムが古くなった時に簡単に入れ替えができることを挙げた。大量データを簡単管理できる効率性としては、大容量となってもワンボリュームで簡単管理がかなうこと、管理高定数が大幅に削減できることを挙げた。

【映像監視ソフトウェア】

●XProtect

映像管理ソフトウェアXProtectは、マイルストーン・システムズ社パートナー企業であるNSKの斎藤満氏が、EMC IsilonにインストールしたXProtectを、ネットワークに接続したソニー製360度全方位ネットワークカメラ映像を使って様々な機能を紹介した。

●Omnicast & Security Center

映像管理ソフトウェアOmnicast と統合ソフトウェアSecurity Centerは、ジェンテック社パートナー企業である加賀ソルネットの太田博之氏が、EMC IsilonにインストールしたOmnicast とSecurity Centerを、ネットワークに接続したソニー製360度全方位ネットワークカメラ映像を使って様々な機能を紹介した。



【まとめ】

各社説明に耳を傾けていた2日間で300名を超える聴講者の大半はシステム構築者だったが、これまでの実績や経験してきたシステムよりも大規模なシステムに対して、様々な内容の質問があり、聴講者の関心の高さを象徴していた。

secutech

2014年3月19~21日
台湾 台北市 南港世界貿易センター
www.secutech.com

セキュリティ市場の新製品や解決策情報が得られる理想的な場

Organised by Messe Frankfurt New Era Business Media Ltd, the seventeenth edition of Secutech will be held from 19 – 21 March 2014 at the Taipei Nangang Exhibition Center. The show offers participating brands an ideal platform to introduce their new products and solutions to the industry.

Mr Parson Lee, Managing Director for the organiser, explained: "Around 80 percent of the participating brands plan to launch new products or solutions in the first quarter of 2014 like H.265, 4K2K, lowlight cameras. Secutech is the perfect occasion for them to reach professional buyers from around the world. By visiting Secutech, industry players are able to gain information of the latest innovations from more than 560 exhibitors."

As an important trade fair for electronic security, fire & safety industry in Asia, Secutech attracts many tier-one companies to exhibit from Asia's major hardware manufacturing and software development bases like China, Korea and Taiwan. Famous brands such as CHING GU, DAHUA, EVERFOCUS, KEDACOM, HDPRO, HIKVISION, HORING LIH, LILIN, NEXTCHIP, NUUO, SHANY, VIVOTEK and YUN YANG will all showcase their latest equipment and solutions at the 2014 show.

The highlighted product zones at Secutech 2014 are

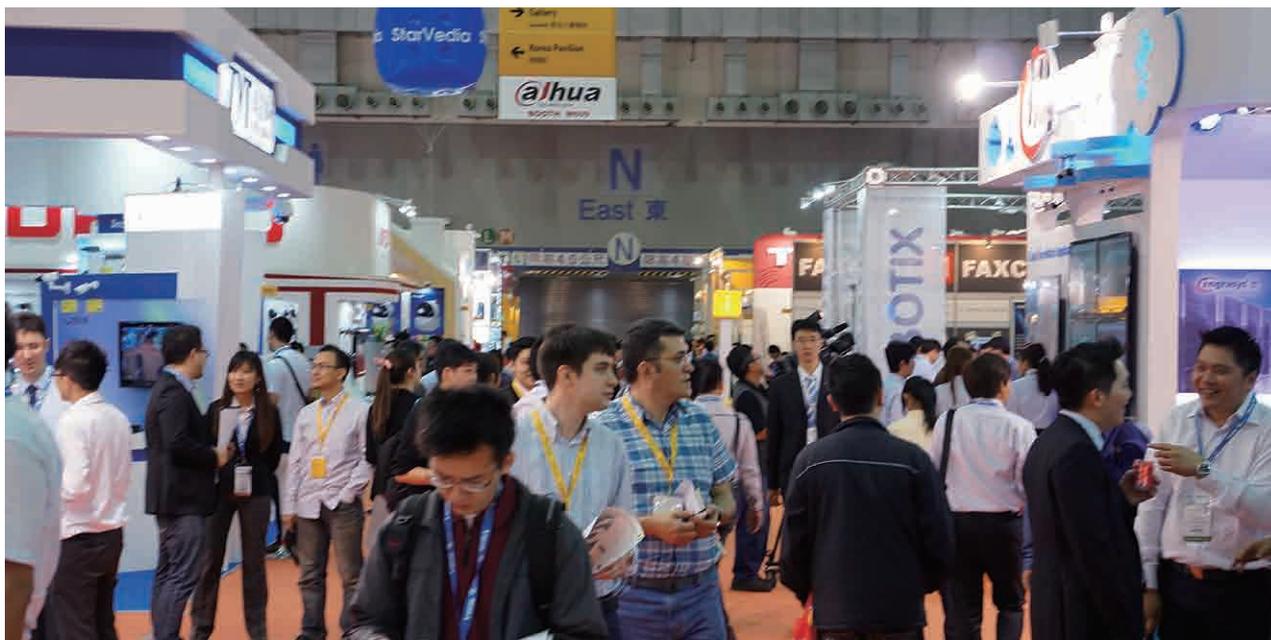
the Access Control and Smart Home Pavilions. The solid supply chain of access control and home automation sectors is built by competent suppliers who are able to tailor make solutions with powerful technical support. Buyers from telecoms, ISPs, cable TVs, HA, retail and alarm monitoring services will discover the innovative devices and applications at the themed show ground.

会期中に開催される諸々のフォーラムとイベント

To enrich visitors' experience, Secutech will provide a range of unique and creative activities during the exhibition. One activity is the Secutech Excellence Award, which will be held again to honour suppliers who provide top-quality IP cameras and NVRs in the market. In addition, a Real-life CCTV Upgrading Demonstration, serving as an educational centre for buyers to experience five different types of analogue camera upgrading solutions will be held during the fair. Also being held concurrently with Secutech will be the Global Digital Security Forum Asia, focusing on the theme "Global Video Management & Integration Platform", to target those who are facing integration challenges.



Organiser: Messe Frankfurt New Era Business Media
Ms. Sandra Chen
+886-2-26599080 ext.761 Email: Sandra.chen@newera.messefrankfurt.com

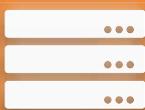


secutech

International Security Expo

3月19日から21日は、
2014年最初のアジアでの情報収集の機会です

www.secutech.com



多種多様 x 価値 = 勝ち組！

- ・SECUTECH は、貴社の顧客の要望と利益創造に応える製品が勢揃い！
- ・SECUTECH は、貴社のビジネス競争での勝ち残りを支援！
- ・SECUTECH は、今一番ホットな 2014 年のイベント！

2014 events in spotlight!



お問い合わせは下記までどうぞ

ASJ 合同会社

TEL : 03-6206-0448 FAX : 03-6206-0452

E メール : komori@asj-corp.jp



messe frankfurt

3月

Security Show 2014(第23回)

会期：2014年3月4日 - 7日
会場：東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社
URL：www.shopbiz.jp/ss

Japan Shop 2014

会期：2014年3月4日 - 7日
会場：東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社
URL：www.shopbiz.jp/js

建築・建材展 2014(第20回)

会期：2014年3月4日 - 7日
会場：東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社
URL：www.shopbiz.jp/ac

第6回LED Next Stage 2014

会期：2014年3月4日 - 7日
会場：東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社
URL：www.shopbiz.jp/ld

リテールテックJAPAN 2014

会期：2014年3月4日 - 7日
会場：東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社
URL：www.shopbiz.jp/rt

NFC & Smart World 2014(第3回)

会期：2014年3月4日 - 7日
会場：東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社
URL：www.shopbiz.jp/nf

ライティング・フェア2014

会期：2014年3月4日 - 7日
会場：東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社
URL：www.shopbiz.jp/lf

フランチャイズ・ショー 2014(第30回)

会期：2014年3月5日 - 7日
会場：東京ビッグサイト
主催：日本経済新聞社
URL：www.shopbiz.jp/fc

Secutech India 2014

会期：2014年3月6日 - 8日
会場：ボンベイ展示センタ(BEC)
インド共和国 ムンバイ市
URL：http://www.secutechindia.co.in/

Secutech International 2014

会期：2014年3月19日 - 21日
会場：台北世界貿易センタ南港展示会場
台湾 台北市
URL：www.secutech.com

4月

ISC West

会期：2014年4月2日 - 4日
会場：サンズ展示会議場
米国 ネバタ州 ラスベガス市
URL：www.iscwest.com

MIPS

会期：2014年4月14日 - 17日
会場：全ロシア展示会場(V.V.C)
ロシア連邦 モスクワ市
URL：www.mips.ru

5月

IFSEC South Africa

会期：2014年5月13日 - 15日
会場：ギャラハー会議場
南アフリカ ヨハネスバーグ市
URL：www.isfseca.com

6月

IFSEC INTERNATIONAL

会期：2014年6月17日 - 19日
会場：エクセル展示会議場
英国 ロンドン市
URL：www.isfsec.co.uk

Secutech India - Delhi

会期：2014年6月26日 - 28日
会場：プラガチ・メイダン会場11
インド共和国 デリー市
URL：www.secutechindia.co.in

8月

SECUTECH VIETNAM

会期：2014年8月20日 - 22日
会場：サイゴン展示会議場(SECC)
ベトナム ホーチミン市
URL：http://www.secutechvietnam.com/en/index.aspx

9月

GDSF JAPAN 2014

会期：2014年9月25日 - 26日
25日 13:00-18:00
26日 10:00-17:00
会場：UDXギャラリNEXT
主催：a&s JAPAN
URL：www.asj-corp.jp/gdsf2014.html

フリーシステムズの赤外線サーマルカメラ、太陽光発電施設のセキュリティを強化

【課題】

英国レディングにあるセキュリティ会社ウェストロニクス社は、明るさや天候条件によりCCTVカメラが使用できないという重大な欠点に直面していた。そこで、同社は赤外線サーマルカメラが赤外線の放射量を検出し、その放射量に基づき、鮮明でコントラストの高い画像を生成する点に着目した。また、光や明るさを必要としないため、完全な暗闇や直射日光、影や煙、雨や霧などCCTVカメラが使えない状況でも、問題なく監視を続けることができるからだ。

【赤外線サーマルカメラの選択】

ウェストロニクス社は、赤外線サーマルカメラの選択にあたり、太陽光発電施設に照明を設置して消費電力の増大化と照明設置による自然保護区の野生動物への影響との回避を最優先した。その結果、同社は、フリーシステムズのPT-313システムを導入することを決定した。これは、PT-313システムが同社のネットワークで使用している標準的なTCP/IPと互換性を有し、既存システムとの統合も極めて容易な点を高く評価した結果でもあった。

導入当初、赤外線サーマルカメラを主に夜間監視に使用していた。しかし、テストの結果、赤外線サーマルが日中の監視強化にも有効であることが分かった。赤外線サーマルカメラは、

低木の影に隠れた侵入者の体温を検知で



き、たとえ侵入者が低木の影に身を潜めても、侵入者の動きを追跡できるからだ。

【PT-313マルチセンサーシステム】

FLIR PT-313マルチセンサーシステムの赤外線サーマルカメラは、非冷却式酸化バナジウム(VoX)マイクロボロメータ検出素子を搭載し、320×240ピクセルの鮮明な熱画像を生成する。また同カメラは880m先の侵入者を検出できる。カメラを動かすパンチルトユニットは水平方向360度、垂直方向±90度の連続旋回が可能だ。重要なカメラコアはIP66適合の防塵防水構造の堅牢筐体でしっかりと保護されている。

PT-313システムは、現在、英国ウィルトシャー州の1施設とコーンウォール州の2施設に導入済みだ。この3施設のセキュリティシステムは3段階で構成されている。第1段階として一般的なフェンスの設置、第2段階として物理的フェンスとソーラーパネルの間に設置したマイクロ波の仮想フェンスの設置だ。そして、第3段階として赤外線サーマルカメラによる監視である。赤外線サーマルカメラを重要なポイントに設置し、監視区域全体を網羅している。

【警報の作動】

侵入者がフェンスを乗り越え、マイク

ロ波の送信器と受信器の間を通過すると、マイクロ波ビームの異常を検知し、警報が作動する。警報はアラーム受信センターに送られ、同時に赤外線サーマルカメラが自動的に侵入者の検出された方向に向きを変え、広角レンズで区域の広域画像を記録する。

PT-313システムの赤外線サーマルカメラとCCDカメラからの映像は、標準HDDへの記録とともにブロードバンド接続でセンターに送信される。センター担当者はカメラを遠隔操作し、状況に応じて赤外線サーマルカメラとCCDカメラを使い分けて侵入者を追跡する。また、誤って監視区域内に侵入した人に、区域からの退去を音声で警告できる。状況によりパトロール隊や警察に報告するが、その際DVRへの記録映像を証拠として警察に提出できる。

【重要な目視確認】

マイクロ波の仮想フェンスは侵入者の検知能力は高いが、大型動物や天候条件により警報の誤作動が起きる場合もある。そのため、警報の作動時に、状況の目視確認が必要不可欠となる。その点、PT-313システムでは、センター担当者は天候や明るさに関係なく、発報が動物か侵入者によるものかを確実に判断できる。

【導入効果】

ウェストロニクス社が今回構築したセキュリティシステム設計と戦略的配置は、24時間365日体制での全天候対応監視ソリューションの新基準と評されている。また、このソリューションは、エネルギー業界や公共施設でも高い評価を得ている。



ソニー、360度全方位ドーム型カメラと車載専用ネットワークカメラを発表

360度全方位ドーム型カメラ

SNC-HM662

SNC-HM662は、360度全方位の撮影が可能なネットワークカメラ。撮影した360度全方位映像から複数箇所を切り出し、補正してあたかも複数台のカメラ映像のように表示することができる。さらに5メガピクセルのCMOSイメージセンサを搭載しているため、切り出した映像も高画質である。1台で複数台のネットワークカメラとして使用するほか、人



や車など全体的な流れを確認するためのカメラとして利用できる。

【主な特長】

様々なビューイングモード

360度全方位画像のほか、360度パノラマ、180度ダブルパノラマ、4画面切り出し、8画面切り出しなど、様々な表示モードをサポート。また設置モードは、通常の天井設置モード、卓上設置のほか、屋外や通路での利用に適した壁設置専用のモードにも対応。

録画側での切り出し・画像補正処理

本製品は、カメラで撮影したオリジナル映像(360度全方位映像)をレコーダもしくはレコーディング・ソフトウェア側に送り、記録側で切り出し・補正を行う。カメラ側で切り出し補正を行う場合はあらかじめ決められた画角の映像しか見る

ことができないが、本製品では、記録済みの360度全方位映像を後から切り出し・補正することができ、表示モードや画角を変更することが可能。

IP66準拠の防水性能

JIS保護等級IP66に準拠しており、高い防塵・防滴性を確保しているため、屋外設置も可能。またIK10にも準拠し、耐衝撃性にも優れている。

その他の主な特長

- ・ワイドダイナミックレンジ機能搭載
- ・簡易式のDay&Night機能を搭載(*1)
- ・内蔵マイクを装備し音声双方向通信に対応
- ・SDカードスロットを搭載しエッジストレージでの映像記録が可能(*2)
- ・PoE対応
- ・“ONVIF”対応

3車載専用ネットワークカメラ

SNC-XM636

SNC-XMシリーズは、バスや列車などに設置が可能な車載用のネットワークカメラ。本製品は鉄道規格EN50155に準拠し、耐震性に優れたM12コネクタを装備している。また、SNC-XM636は水平画角83度、SNC-XM637は水平画角113度で、用途に合わせて選択できる。衝撃・



振動など、厳しい環境下での性能・品質が求められる車両搭載に適している。

【主な特長】

IP66準拠の防水性能

JIS保護等級IP66に準拠し高い防塵・防滴性を確保しているため、車内洗浄も行える。IK10にも準拠し耐衝撃性にも優れ、屋外にも設置が可能。

フルHD映像出力対応

1920×1080ピクセルのフルHD映像を30フレーム/秒のフレームレートで出力でき、乗客の表情や服装なども高画質で記録することが可能。

ワイドダイナミックレンジ機能搭載

1フレーム内でシャッタースピードが異なる2枚の画像を合成し、同時に明暗

部コントラスト補正機能(VE: ビジビリティエンハンサー)を組み合わせることで、明部および暗部の視認性を飛躍的に向上させるワイドダイナミックレンジ機能「View-DR」を搭載。乗降時の逆光環境などに有効。

スタビライザ機能搭載

車載設置の振動の影響により発生する画面の揺れを軽減。

その他の主な特長

- ・簡易式のDay&Night機能を搭載
- ・内蔵マイクを装備し音声通信に対応
- ・SDカードスロットを搭載しエッジストレージでの映像記録が可能
- ・PoE対応
- ・“ONVIF”対応



アクシスコミュニケーションズ、新製品情報

HDTV PTZドームカメラ AXIS Q60-Sシリーズ



本シリーズは、窒素ガス圧式ステンレス・スチール・ケース仕様の同社最上位機種PTZドームネットワークカメラ。ステンレス・スチール・ケースにより、錆びに強く塩水や洗浄剤による腐食への耐性を持ち、高圧蒸気洗浄にも耐える。また、窒素ガス圧によりケース内部に結露発生を防ぐ。さらに、SAE 316Lステンレス・スチールとナイロン・クリア・ドームカバーによる構成で、-30℃から50℃までの温度環境で動作可能。IP66、IP6K9K、NEMA 4X、MIL-STD-810G509.5に準拠し、防塵、防雨、高圧蒸気洗浄、雪、氷、および塩分を含んだ霧に対して耐性がある。

カメラには標準的なネットワーク光ファイバによる接続を可能にするメディアコンバータ・スイッチと、マルチコネクタ・ケーブルを付属。スイッチはカメラに12Vの電力を提供するだけでなく、設定可能な2つの入出力ポートによる外部アラーム機器との接続を提供。

AXIS Q6042-Sは拡張D1解像度と36倍光学ズーム、AXIS Q6044-SはHDTV720pと30倍光学ズーム、AXIS Q6045-SはHDTV1080pと20倍光学ズームを提供。

AXIS Q60-Sシリーズは、カメラに衝撃が加わった際、機械的にそれを検知しアラームを発報する衝撃検知機能を搭載。「AXIS Q6042-S」「AXIS Q6044-S」は電子式動体ブレ補正(EIS)を提供し、風や交通による振動の影響を低減させて、より鮮明で有用性のある映像を提供する。

大規模・ミッションクリティカル向け、 高性能ビデオエンコーダソリューション



本製品は、業界最高密度のビデオエンコーダシャーシAXIS Q7920と、ビデオエンコーダAXIS Q7436による構成。

ビデオエンコーダブレードAXIS Q7436は、60/50fpsをサポートし、素早い動きのある撮影シーンでも滑らかな映像を提供する。個別設定可能なマルチストリームを各チャンネルで利用でき、全ての解像度でフルフレームレートを提供する。さらに、この6チャンネルのビデオエンコーダブレードはノイズ低減、シャープネス強化、コントラスト最適化などの機能を搭載し、さらに向上した高品質な映像を配信。

エンコーダブレードを搭載した高密度のラックソリューションは、大規模で中央集約的なシステムに柔軟性と信頼性のあるソリューションを提供。

ビデオエンコーダシャーシAXIS Q7920はエンコーダを収納するラックで、大規模なアナログシステムをネットワークビデオに移行し、拡張性のあるソリューションを提供する。ホットスワップ可能なブレードを最大14枚搭載し、84台までのアナログカメラに対応。さらに、ホットスワップ対応により、エンコーダブレード設置や取り外し時、システム全体の電源切断は不要。また、電源とネットワークの冗長性を有する。RJ45ポートおよびSFPスロットにより、柔軟でコスト効率の高い長距離ネットワークの接続を提供。

ARTPEC-5



本チップは、フルHDTV解像度で、H.264ハイプロファイル(HiP)映像圧縮規格と高フレームレート(60fps)によるエンコードをサポート。これにより、従来の2倍のフレームレートと解像度を実現。高フレームレートにより、素早い動きをする被写体の詳細をとらえることができる。また、フルHDTVの解像度により、広範囲に撮影した画像を詳細レベルで提供できる。

アクシス製ネットワークカメラやビデオエンコーダ製品の電力消費を最大限に抑えることが可能。そして多くの映像ストリームを同時に扱うことが可能で、より高速なSDカード・インタフェースをサポートし、エッジストレージとして利用できる。

ARTPEC-5のデュアルコア・マルチプロセッサ設計と共に、キャッシュ容量は増大し、メモリ・スループットも向上している。そのため、インテリジェント映像と映像分析アプリケーションの処理性能がより高まる。

また、AXIS Camera Application Platformの利用で、エンドユーザは様々な映像分析アプリケーションを選択し、アクシスのカメラにアップロードすることが可能。認識やカウント、検知やトラッキングといった高度な機能を提供するアプリケーション群を取り揃えている。

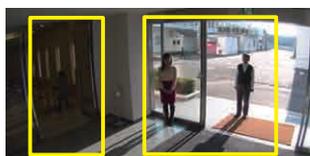


パナソニック システム ネットワークス、フルHD対応の高画質・高機能ネットワークカメラを発売

同社が今回発表した製品は、iProシリーズの屋内外用ドームカメラで、フルHD屋外型WV-SFV631L、HD型屋外ドームWV-SFV611L、フルHD屋内型WV-SFN631L、HD屋内型WV-SFN611Lの4機種。主な特長は下記の通り。

ダイナミックレンジ133dBさらに性能を向上させたスーパーダイナミック機能搭載

シャッタースピードの異なる画像を合成することで、照度差の大きい被写体でも、画素単位で明るさを補正し、より自然な画像で撮影が可能。



SD-OFF



SD-ON

新コーデック・エンジンを搭載

新開発のコーデック・エンジン搭載により、フルHD(1920×1080p)画質で最大毎秒60フレームの映像配信出力が可能(WV-SFV631L)。



1080/30fps

1080/60fps

赤外線照明(IR LED)を搭載

赤外線照明を搭載し、照度0ルクス環境下で30m先まで撮影できる。



照度
650ルクス



照度0ルクス
IR LED-ON

高感度MOSセンサと新ノイズリダクション機能を搭載

高感度センサ、新方式のノイズリダクション機能MNR(マルチプロセス・ノイズリダクション)により低照度環境下でも見やすい画像を実現する。MNRは、変化の少ない部分はノイズ除去を優先し、ノイズが目立ちやすいエッジ部分は解像感を優先して処理することで、画像全体のノイズを抑えながら立体感の表現を可能にする。



従来機種
0.04ルクス



SFV631L
0.04ルクス

SDメモ리카ード・スロットを2基搭載し、カメラ内記録機能を強化

2枚のSDメモ리카ードを順番に使用することにより長時間の画像記録を実現できる。また、デュアル録画機能(2枚のSDメモ리카ードに対して同時に録画する機能)により記録データのバックアップが可能。

●シンプル録画

64GB+64GB=128GB(SDXCカードの場合)

画像データをSDメモ리카ード1またはSDメモ리카ード2のどちらかに保存する。画像データをより長時間録画したい場合に選択。

●デュアル録画

64GB=64GB(SDXCカードの場合)

SDメモ리카ード1とSDメモ리카ード2に同一画像データを保存する。SDメモ리카ードの1つに障害が発生しても他のSDメモ리카ードに画像保存が可能。



優れた耐衝撃性と高い防水性

筐体にアルミダイカスト、ドームカバー部にクリアポリカーボネート樹脂の採用に加え、ドーム部には衝撃を吸収する構造により、優れた耐衝撃性(50J/IK10)を実現。また防水性能IP66(IEC60529/JIS C 0920)、Type4X(UL50)適合、NEMA 4Xに準拠し、高い防塵性と防水性を確保し、屋外設置を可能とした。また、本機にはカメラ内部を低湿度に保つための除湿素子を内蔵。

なお、耐衝撃性は50J(IEC 60068-2-75/JIS C 60068-2-75)/IK10(IEC 62262)に準拠。防水機能IP66は、外来固体物に対する「耐塵形(6)」、水に対する「暴噴流(6)」への保護を示す。NEMA(米国National Electrical Manufacturers Association)が制定している防塵・防水性能規格。

ボッシュ、ネットワークカメラ17機種を発売

【発表新製品】

Bosch Security Systemsは、2014年2月より新たにネットワークカメラ17機種の発売を開始した。その内訳は、エントリーモデル IP micro 2000シリーズ4機種と、HD 1080p/5MピクセルのIP 5000シリーズ13機種。今回の新機種投入により、特に固定ドーム・ネットワークカメラのラインナップが大幅に拡充された。

今回発表の新機種全てに、iDNR（インテリジェント・ダイナミック・ノイズ・リダクション）機能が搭載されている。これにより、転送ビットレートを低減することが可能になり、ネットワーク帯域幅とストレージ容量を最大30%程度削減することができる。

【新製品の概要】

- コンパクトな固定/固定ドーム・ネットワークカメラ
IP micro 2000シリーズ
NPC-20002-F2 : VGA、屋内対応
NPC-20012-F2 : HD 720p、屋内対応
FLEXIDOME IP micro 2000シリーズ
NUC-20002-F2 : VGA、屋内対応
NUC-20012-F2 : HD 720p、屋内対応
- 赤外線照明内蔵、屋外設置可能
IP bullet 5000 HDシリーズ
NTI-50022-V3 : HD 1080p
- 屋外対応、HD 1080p/5Mピクセルの解像度を実現
FLEXIDOME IP micro 5000シリーズ
NUC-50022-F2 : HD 1080p、2.5mm/F2.8
NUC-50022-F2M : HD 1080p、2.5mm/F2.8、車載対応
NUC-50022-F4 : HD 1080p、4.37mm/F2.0

- NUC-50051-F2 : 5Mピクセル、2.5mm/F2.8
- NUC-50051-F2M : 5Mピクセル、2.5mm/F2.8、車載対応
- NUC-50051-F4 : 5Mピクセル、3.74mm/F2.0

- 屋内対応、ミッドレンジ固定ドーム・ネットワークカメラ

FLEXIDOME IP indoor 5000シリーズ

- NII-50022-V3 : HD 1080p、赤外線照明内蔵
- NIN-50022-V3 : HD 1080p
- NIN-50051-V3 : 5Mピクセル

- 屋外対応、ミッドレンジ固定ドーム・ネットワークカメラ

FLEXIDOME IP outdoor 5000シリーズ

- NDI-50022-V3 : HD 1080p、赤外線照明内蔵
- NDN-50022-V3 : HD 1080p
- NDN-50051-V3 : 5Mピクセル



【既存のHD/フルHD製品ラインナップ】

- 固定ネットワークカメラ
IP 200 HDシリーズ
NBC-265-P HD 720p
Dinion DN 720p DNシリーズ
NBN-921 HD 720p

- 固定ドーム・ネットワークカメラ
IP 200 HDシリーズ
NDC-265-P HD 720p
FlexiDome HD 720pシリーズ
NDN-921 HD 720p 屋外対応
- PTZネットワークカメラ
AutoDome 800 HDシリーズ
VG5-825 HD 1080p 屋外対応
AutoDome Junior HDシリーズ
VJR-811/821 HD 1080p

【既存の製品ラインナップ】

- 固定ネットワークカメラ
IP 200 シリーズ
NBC-225-P、NBC-255-P
Dinion IPシリーズ
NBC-455
Dinion IP DNシリーズ
NBN-498
- 固定ドーム・ネットワークカメラ
IP 200 シリーズ
NDC-225-P、NDC-225-PI、NDC-255-P
FlexiDome IPシリーズ
NDC-455屋外対応
FlexiDome IP DNシリーズ
NDN-498 屋外対応
- PTZネットワークカメラ
AutoDome IP 500iシリーズ
VG4-5 屋外対応
AutoDome IP 300シリーズ
VG4-3屋外対応

今回の17機種にわたる新製品の発売により、ボッシュ製品は、HD/フルHD対応製品が23機種となり、総数で34機種を数えることになった。その結果、これまで以上に様々なソリューションに対応できる製品ラインナップがそろった。



砲弾型カメラ

IPV-7011RV

- ・最大1.3メガピクセル解像度
- ・H.264によるリアルタイム映像とMJPEGによる圧縮
- ・バリフォーカル・レンズ
- ・最大距離30mまでのIR LED
- ・ボード搭載型ストレージをサポート
- ・IP66適合



Marss/イタリア

Email: info@marss.eu

3チャンネル・マルチビュー・ドームカメラ

- ・410K, 600TV本の高解像度
- ・2.4mm望遠レンズ1本と12mm広角レンズ2本
- ・3軸表示で3方向監視に最適
- ・ケーブル1本で3台のカメラを接続
- ・フルスクリーン、ピクチャ・イン・ピクチャ、自動逐次
- ・RS-485による制御が可能



WatchCam/韓国

Email: pj@watchcam.co.kr

柱状型PTZカメラ

- ・ライブ映像をウェブ接続のPCで送信しストレージに記録
- ・45日分の録画から不要データを削除
- ・ウェイブストア社製VMSをボードに搭載
- ・遠隔ダウンロードと弾道耐性
- ・改ざん防止: 内部バックアップバッテリーを標準装備



Revadar/英国

Email: revader.com

IPデコーダ

NPX-4800-IPD32HQ

- 映像IPネットワーク上のエンコーダ/DVRでカメラをデコーディング
- ・最大で2つのウルトラHD信号, 16のHD信号, 32のD1信号のデコーディングが可能
 - ・ONVIFプロファイルS標準
 - ・複数メーカーのカメラ2500台以上に対応
 - ・自在に個別コードをカスタマイズしたコードでサポート



Eyevis/ドイツ

Email: info@eyevis.de

フルフレーム録画/再生用HD-SDI DVR

HDC400F

- ・A4サイズの小型HD-SDI DVR
- ・4チャンネル, HD 1,080pを120/100fpsで録画/再生
- ・表示/再生時に1200TV本の高解像度
- ・デュアル・エンコードとマルチストリーム
- ・最大SATAタイプHDDを2基内蔵
- ・HD-SDI, RS485, DIOポート用の避雷器
- ・1024のDVRまで管理するCMSプログラムを搭載



WEBGATE/韓国

Email: sales@webgateinc.com

サーマルカメラ

PTシリーズ

- ・IPとシリアル・インタフェイスによるIP/アナログ映像を出力
- ・カメラ・カセットが交換可能
- ・フリアー17マイクロンピクセルピッチ配列に基づいた640 x 480の解像度
- ・ONVIF対応のオープンIP基準でプラグ&プレイを統合
- ・H.264, MPEG-4, MJPEG対応



FLIR Systems/米国

Email: sales@flir.com

NVR 7208/7216/7232/7264-8P

- ・1,080Pのライブ映像を最大8/16/32/64チャンネルで表示
- ・H.264とMJPEGのデュアル・コーデック
- ・最大256Mbpsの通信に対応
- ・HDMI/VGAでの映像出力
- ・8/16/32チャンネルを同期表示するグリッド・インタフェイス
- ・対応カメラ: Dahua, アリコント・ビジョン, アクシス, ボッシュ, プリコム, キヤノン, ダイナカラー, ハネウェル, パナソニック, ソニー, VIVOTEK, その他.
- ・ONVIF2.2準拠



Dahua Technology/中国

Email: overseas@dahuatech.com

HD-SDIカメラ

- ・HD-SDI方式
- ・放送および医療用機器
- ・出力端子: HDMI, RGB, HD-SDI, CVBS
- ・ヒロセ電機製電力入力ポート
- ・フルHD1,920x1,080を60P/60i/50P/50i/30P/25Pでサポート
- ・HD1,280x720を60P/50P/30P/25Pでサポート



ComartSystem/韓国

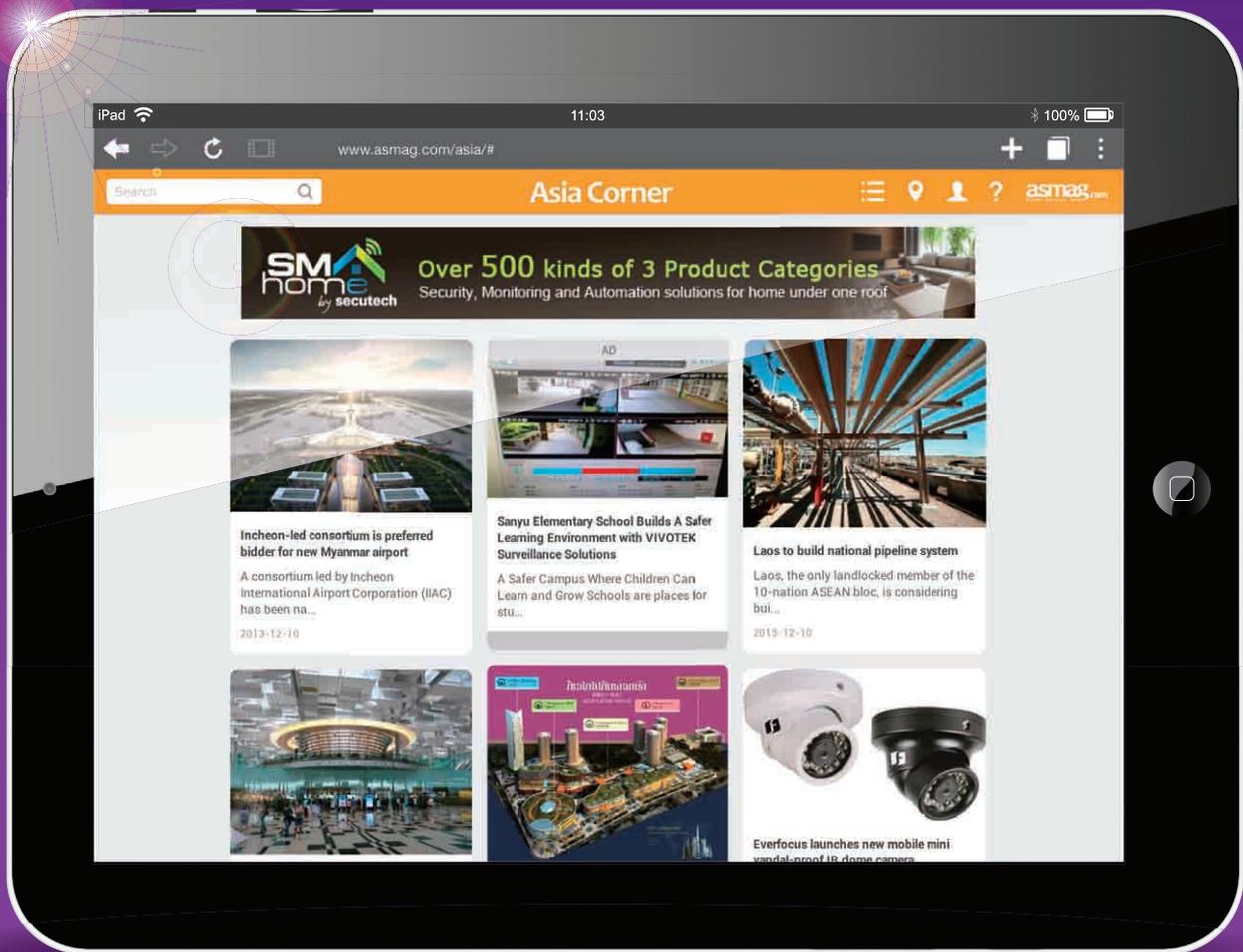
Email: sales@comartsystem.com

アジア・コーナー

アジア各国のセキュリティや安全専門家向けの新しいデジタルメディアです。

Asia Cornerは効果的な行動を支援します。

- ASEANおよびAPAC各国の最新ニュースやイベントそしてインタビューなどを、a&sグループがお届けします。
- 重要な案件やパートナー企業そして様々な可能性が、PCやタブレット端末そしてスマートフォンからご覧になれます。
- クロスメディアによる情報発信を積極的に展開します。



Print



PDF



e-Magazine



Website



a&s = Total Reading & Sourcing Experience

今すぐ登録を!
asmag.com/asia



a&S JAPAN 電子版

定期無料購読のご案内

簡単な手続きで毎号お読みいただけます



① <http://www.asj-corp.jp/> にアクセス

② このバナーをクリック



③ 登録画面の全項目にご記入

送信する

④ 「送信する」をクリック

⑤ 登録完了メールをお送りします

最新号発行のたびに
アクセスするURLをお送りします

差出人: セキュリティ国際情報誌 a&S JAPAN <info@asj-corp.jp>
件名: a&S JAPAN電子版 最新号発行のお知らせ!
日時: 2013年3月27日(木) 15:00
宛先: info@asj-corp.jp

本メールは、弊社HPよりa&S JAPAN 電子版に読者登録された方
イベント会場にて電子版代行登録を希望された方に送信しております。

◆◆◆a&S JAPAN 電子版 3/4月号発行のお知らせ◆◆◆

セキュリティ国際情報誌 a&S JAPAN【電子版】を発行いたしました!
下記アドレスよりアクセスをお願いいたします!

<http://www.asj-corp.jp/201302271830/no33.pdf>

ASJ社

年間購読申込書

申込日 20 年 月 日



隔月刊 6,000円
(税、送料込)

20

年

月号より1年間購読

送 付 先	住 所 1 :	
	住 所 2 :	
	貴 社 名 :	
	部署名 1 :	
	部署名 2 :	
	電 話 :	FAX :
	役 職 名 :	
	ご 氏 名 :	
E-MAIL :		

振 込 先	ゆうちょ銀行からの振込の場合 口座記号：10180 口座番号：3723281 口座名：エーエスジェー（ド） ※ATM表記は、「エーエスジェー（ド）」となります。
	他の金融機関からの振込の場合 ゆうちょ銀行 店名：〇一八（読み ゼロイチハチ） 普通預金 口座番号：0372328 ASJ 合同会社（エーエスジェー ゴウドウガイシャ） ※ATM表記は、「エーエスジェー（ド）」となります。
	※振込手数料は、貴社にてご負担いただきますようお願い申し上げます。
	※発送は、入金確認度とさせていただきます。
※送付先は、日本国内に限定させていただきます。	

FAX番号 03-6206-0452

ASJ(Advanced Security Journal)社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-7-1 ウィン神田ビル10F
TEL：03-6206-0448 E-MAIL：reader@asj-corp.jp

読者の声

システム導入提案記事を掲載希望

貴誌の導入事例記事は参考になるが、具体的なシステムとしては規模を含めて身近に感じる例が多くない。日本の場合、導入先の了解が得られないために公開できないという事情もあるのかもしれない。そこで、提案だが、システム構築企業や映像監視機器メーカーの方々、システム導入提案に関する情報を記事として掲載していただけないかということだ。

(東京 流通業)

システム保証の一本化

セキュリティ・システムは製品により保証期間が異なる。最近ではネットワークカメラの保証期間を3年を設定している製品も見受けられる。しかし、その他の製品はほとんどが1年保証でしかない。特にコンピュータやストレージそして周辺機器などのIT関連機器は大半が1年保証だ。セキュリティ・システムを導入するケースはほとんどがBtoBであり、数年使用するだけではない。せめて、システム保証機関として期間の一本化を望む。

(東京 管財業)

規模別ソリューションのモデルの紹介

最新の映像監視システムが高度化するに従って、使用する製品も増えている。以前はアナログカメラとDVRで済んでいたものが、ネットワーク機器が加わったことでユーザ側は混乱している。以前本欄で、システムの見積仕様書の統一を望む意見があったが、できるものならば、カメラ台数、インターネット使用の有無、配線距離、映像録画容量などの数字を入れると概算を試算できる雛型があると、検討する上で役に立つ。

(埼玉 小売業)

訂正のご案内

弊誌1月号で下記の通り訂正します。なお、電子版は訂正済みです。

12P 左段7行目

誤 日本で高めていく方針だ。2014年には東

正 日本で高めていく方針だ。2013年には東

「読者の声」を募集しています。

本誌では、セキュリティに関する読者の皆様のご意見やご提案を募集しています。セキュリティ機器やシステムを供給している側、セキュリティ・システムを既に導入あるいは導入を予定している側、いずれの側からの応募をお待ちしています。ただし、特定企業や団体または個人に対する誹謗中傷または批判的な内容をご遠慮ください。

一例を挙げると、導入する場合の手順はどのように進めれば良いのか。導入前の事前説明についてはどこに相談すべきなのか。メーカーなのか販売会社なのか、システム構築企業や設置施工企業なのか、それともセキュリティ・コンサルタント企業なのか。セキュリティに関する疑問や意見また提案など、セキュリティ関連であれば詳細は問いません。掲載する場合は匿名扱いとしますので、個人情報が漏洩することはありません。

なお、具体的な導入相談については、導入条件や環境についてできるだけ具体的な内容をご連絡ください。ご応募をお待ちしております。



a&s JAPAN編集部

TEL : 03-6206-0448

FAX : 03-6206-0452

MAIL : info@asj-corp.j

第22回 セキュリティ・安全管理総合展

SECURITY SHOW 2014

防犯カメラからホームセキュリティまで、社会とビジネスの「安全・安心」を守る日本最大級の展示会！

3/4 火 ▶ 7 金

10:00 ~ 17:00
(最終日のみ16:30まで)

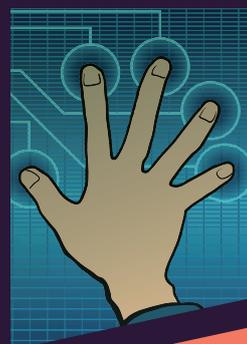
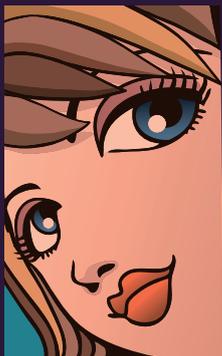
東京ビッグサイト
東2・3ホール



主催 日本経済新聞社

後援 警察庁、(独)情報処理推進機構、日本商工会議所、
全国商工会連合会
(順不同)

協力 テレビ東京、日経BP社
(順不同)



事前登録で
入場無料!

当日 = 2,000円 (税込み)

<http://www.securityshow.jp/>...

高解像度・全天候型・オールインワンのソリューション

New

5MP
sensor

AllroundDualカメラ M15

※映像表示は3MPまで



MxPEGの優位性

- MxPEGは、MPEG-4(H.264)等の映像圧縮技術とは違い、セキュリティカメラの為に開発された世界初のコーデックです。
- ライブ映像はスムーズなのに録画映像をストップすると必要な画像がぼやけて見えにくい思いをすることがありませんか？ MxPEGは画像一枚一枚を鮮明に捕らえます。
- カメラ側でコーデック処理をするのでネットワーク負荷の低減を実現します。



- 画像内の背景部分(オブジェクトに対して変化のない部分)はそのままの画像を使用
- オブジェクトの変化した差分のみを圧縮し動画表示

高解像度画像を低負荷で、転送可能

革新的なMxActivitySensor

- 画像内に複数のビデオモーション・ウィンドウを設定する手間が省けます。MxActivitySensor(アクティビティ・センサー)であれば画像内全域の持続的な動きだけを効率的に認識して、イベントやアラーム発報が可能です。
- アラームを作動させたい自動車や人物などの大きな動きに対して敏感に反応して、その動作方向を認識します。
- 風で動く木やポール、強い雨や雪などアラームに関係のない動きには非反応



豪雨や木の揺れ、陰には反応しないが移動してくる車の動きにアラームが立っている様子。



画像奥の駐車場を横切る人物の動きにアラームが立っている様子。

MOBOTIX JAPAN

〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町6-85 RK Cube 4F
Phone. 045-227-6174 Fax. 045-227-6286 cam-sales@mobotix.jp